	事務事業の概要												
			T										
1	事務事	業名			公平委	員会・	固定資産評価	西審查委員会	事務 				
2	担当部	昭名	総務部	担	当課名		総務課	課長	:名 :	松村 吉偉			
	/// A = 1 :		目指す都に	市像	10	信頼さ	れる行政を対	進めるまち					
3	総合計		施		6	_							
	位置了	ハノ	今後の取	/糸月									
	₩ ◇ ₩		基本目標										
4	総合戦闘が		基本的方	-									
		- 17											
_	行革大	綱の	重点項目										
5	位置			3									
			改革名		•								
6	予算事	業名	2	公平委員	会事務費	固定	資産評価審査	查委員会事務 ⁹	費 報酬給与	5費			
7	事業開始	年度	昭和	31 3	丰度		事業終了年	度	⁷ 成 — :	年度			
					事	務事業	の実施						
8	対象	公平委	員会:市職員	/ 固定	E資産評価	□審查委	員会:評価に	不服のある固定	定資産税の納	税義務者			
	事業の 地方公務員法の規定に基づき設置される公平委員会及び地方税法の規定に基づき設置される固定資産評												
9	目的												
		価審査委員会の事務を処理するため、各行政委員会の事務局として庶務を所掌することを目的とす											
			4 ++	7 0 0	+, + +*>	> /+ /- - - 7		2 4 5 1 5	<u> </u>	C			
	改善内	2	1 拡大する	5 2 見	直しながら	つ続ける	3 縮小する	5 4 廃止又	は休止する	5 完了する			
	容を踏												
10	まえた							例その他の最新	新情報を収集	し、委員へ提供			
	今後の	するこ	とで、的確な智	審査に資す	するよう	努めてい	\ <.						
	方向性												
			委員会)										
		①職員 る。	の給与、勤務的	寺間その他	也の勤務領	条件に関	する措置の要	求を審査し、	削定し、及び	必要な措置を執			
			に対する不利益	**た処分に	ついての	の不服は	立てに対する	裁決又は決定を	をする。				
	事業の	③その	他職員の苦情を	を処理し、					_, _,				
11	内容		資産評価審査		- <i>2</i> ×43 -+ 4	った体状	リー胆士フェロ	な 一大 本 本 小 中 オ :	7				
	(手法)		者の固定資産調	未代一帳に	-豆球で1	いこ地代	記し関タの小服	で番買決止りる	වං				
			30年度からの 死・変更内容										
		(予算持	昔置を必要とする										
		も	のに限る)							<u> </u>			
Ī	指標の		名称 (単位))		年度	30年度	31年度	32年度	_ \			
Ī	推移				(総計[目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)	」 ∖			
12	成果指標									<u> </u>			
Ī	(1)	職員団	体の登録に係る	る審査件数	友 :	3	3	3	3	\			
Ī	活動指標 ②	固定資	産価格に対する	る申出件数	久	1	1	1	1	 \			
	コストの	推移 (単位:千円)		(当初]予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	┐ \			
Ī)		10	980	713	711	 \			
13		_	受益者負担額		'	. 🧳	300	1 10		 \			
	歳入(b)	F	文皿 日 負担に 国県補助金等そ							 \			
Ī	(-)				7	10	000	740	711	<u> </u>			
		•	b) = 一般	29.7/1/18		10	980	713	711				
14	増額理由	Ĭ	継続事業		, ,	+							
					備	Ā	考						

	事務事業の概要												
1	事務事	業名						計画営繕事	業				
2	担当部	名	総務	部	担	当課名		資産経営課		課長名		黒田	元晴
	//\\	- T- 1	目指す	都市像		10	信頼さ	れる行政を	進める	まち			
3	総合計で 位置で		施	策		6	-						
	╙╚╸	717	今後(の取組									
4	総合戦闘	略の	基本	目標									
4	位置つ	ブナ	基本色	的方向									
	——————————————————————————————————————	 	重点	項目									
5	行革大統 位置つ		項	B									
	世世~	717	改革	革名									
6	予算事	業名						_					
7	事業開始	3年度	4	成 —	年	度		事業終了年	度	平成	. –	年度	
						事	務事業	の実施					
8	対象	市所有	施設(住宅)	以外)									
9	事業の 目的	市所有供する	頁施設(住宅以外)の営修繕に係る計画、予算の算出を行い、利用者に 3。								かつ安全	全安心な	流設を提
		2		する 2	2 見直	- 廃止又は(±ı⊦する	5 =	記する				
	改善内		I ガムハ	(9 d) 4	ᄼᇨ	Uan_	がパノ〜	3 縮小する	<u>ه</u> ا		↑Ⅲ9~		1190
10	容を踏まえた 今後の 方向性							戦を習得するこ るめながら事業				画と積算	算業務を行
11	事業の 内容 (手法)		立案する。					3上の問題点等 5費用及び監理					
		拡充 (予算指	3 0年度から で変更内容 音置を必要とす のに限る)	!									
	指標の		名称(单	<u></u> -		29	年度	30年度	3	1年度	32年度		
_	推移		☆ 付	=1 <u>11</u> /		(総計E	目標値)	(見込み)	(5	見込み)	(見込み)	<u> </u>	
12	成果指標	概算予	算の作成件	-数		4	5	45		45	45	\	\
	行動指揮	概算予	算の作成位	來賴件数		7	' 5	75		75	75		\
	活動指標 ②												\
	コストの	推移(<u></u> 単位:千円)			(当初]予算)	(予算要求)	(月	見込み)	(見込み)		\
			接事業費)	(a)		51	14	532	5	515	517		\
13			受益者負	 担額									\
	歳入(b)		国県補助金	 等その他									\
	(a)	<u> </u>	b) =	一般財源	<u> </u>	5	14	532	5	515	517		\
14	増額理由		継続事業										
						備		考					

		事務事業の概要													
1	事務事	業名					秘書渉外事	 業							
2	担当部	名	総務部		担当課名		秘書課	課長	名	竹村	八栄				
	<i>•••••••••••••</i>	т. С	目指す都	市像	10	信頼る	される行政を進	めるまち							
3	総合計で 位置で		施	策	6	-									
	四回っ	717	今後の国	[[[]]] [[]] [[]] [[]]	1	-									
4	総合戦	路の	基本目	標											
4	位置つ		基本的法	向											
	/ - + - /	W 6	重点項	i 🗏											
5	行革大統 位置つ		項	B											
		/1)	改革	名											
6	予算事	業名					秘書渉外費								
7	事業開始	年度	昭和	31	年度		事業終了年	度 平	成	年度					
					事	務事業	の実施								
8	対象	①市長	②副市長	③市民	4関係機関	関・団体	等本								
		@ ± =		前市長が円滑に公務を遂行できるようサポートを行う											
9	事業の	受巾長													
	目的	◎市政	に関係した市民・各種機関・団体等との連絡や調整を行う												
		_													
	改善内	2	1 拡大す	る 2!	見直しながら	続ける	3 縮小する	4 廃止又に	は休止する	5 5	完了する				
	容を踏														
10	まえた 今後の	課内	の情報の共有	化と連絡	各・報告は密	密に行り	1、業務を的確し	こ実施する。							
	方向性														
		⋒ フケ	ジュール管理)											
		◎随行	業務	1											
		◎事務	補助 文等作成												
	事業の	◎接客	対応												
11	内容	◎市後	援・協賛等許 ・回覧等によ	可事務	『翠との浦丝	久 』 ≣田東	坟								
	(手法)		・凹見寺にん	11/020	でしている。	百、903	Ê								
		拡充	・変更内容												
			間で必要とする のに限る)												
	指標の		9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		29	 年度	30年度	31年度	32年度	٨					
	推移		名称(単位	<u>1</u>)		目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)	— \ \					
12	成果指標										\				
	1														
	活動指標 ②														
	コストの	推移(単位:千円)		(当初	予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		\				
	歳	出(直	接事業費)(a)	12,	476	12,398	12,512	12,399	9	\				
13	歩】 (い)		受益者負担	額							\				
	歳入(b)		国県補助金等·	その他							\				
	(a)	- (b) = -b	般財源	12,	476	12,398	12,512	12,399	9	\				
14	増額理由	糸	継続事業												
					備	<u> </u>	考								

	事務事業の概要													
					手	扮 事業								
1	事務事	業名					表彰事業	Ě						
2	担当部	侶	総務部		担当課名		秘書課		課長名	,	竹村	八栄		
	/// A = : :	- -	目指す都に		10	信頼る	される行政を	進める	まち					
3	総合計		施	ŧ	6	_								
	1176 ~	ハノ	今後の取	組	1	_								
	総合戦闘	<u>略の</u>	基本目標											
4	位置つ		基本的方	_										
		<u> </u>	重点項目	∃										
5	行革大 位置つ		項 E	∃										
	四国 _	717	改革名	7										
6	予算事	業名			市政功労	者等表	彰費、秘書	涉外費、	報酬給	∋費				
7	事業開始	台年度			年度		事業終了年	F度	平成	; 1	年度			
					事	務事業	の実施							
8	対象	①市政	有功者 ②功労	首者 ③	善行者(1一般	⑤善行児童	6叙勲	等					
9	事業の 目的		中政に功労のあった市民への顕彰及び各分野においてすぐれた活動等で貢献された個人・団体の功績を こたえ、今後のさらなる発展と活躍を期待し併せて激励を行う 2 1 拡大する 2 見直しながら続ける 3 縮小する 4 廃止又は休止する 5 完了する											
	改善内	2	1 拡大する	3 2 5	見直しながら	続ける	3 縮小す	る 4	廃止又は	木止する	5 f	子する		
10	容を踏	治・文 また、	は受賞者の功線 化等の振興にも 定例的な事務 省きながらも現	5大きく 事業でも	寄与するであるため、	ことが其 大きな	明待される。 な経費削減はS	望めない:						
11	事業の 内容 (手法)	催 【叙勲 【賞し	功労者等表彰】 】 ・春秋叙勲 金交付】 ・春 30年度からの	東・叙	!位 ・死ロ	二叙勲	勇 ・表彰審査 ・高齢者叙勲 ・物故者お供え	物等の候			∃」表	長彰式の開		
		拡充 (予算指	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で											
	指標の		名称(単位))	29:	年度	30年度	31	年度	32年度	_/\			
[.	推移			,	(総計E	目標値)	(見込み)	(見	込み)	(見込み)	۱\			
12	成果指標										\	\		
	活動指標													
	コストの	推移(単位:千円)		(当初]予算)	(予算要求)	(見	込み)	(見込み)		\		
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·)		41	1,501		506	1,506		\		
13		,	受益者負担額	-			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	. /				\		
	歳入(b)	[国県補助金等そ									\		
	(a)		b) = 一般		1,4	41	1,501	1,5	506	1,506		\		
14	増額理由		継続事業					.,.		.,				
	,,						考							
					PIT									

	事務事業の概要													
		NII												
1	事務事						好都市理事者		_					
2	担当部	名	総務部		担当課名		秘書課	課長	8	竹村	八栄			
	«۸ △= ±آ	両の	目指す都に	5像	10	信頼る	される行政を進	 						
3	総合計で 位置で		施	ŧ	6	-								
		<i>7</i> 1 <i>7</i>	今後の取	組	1	-								
	総合戦闘	略の	基本目標											
4	位置つ		基本的方	Ó										
			重点項目											
5	行革大統		項											
	位置つ	フリブ												
6	予算事	<u></u> 举夕	以十二			力市:	<u></u> 妹・友好都市							
7			昭和	41	年度	יווא.	事業終了年		成	年度				
_	尹未用以	一个区	リロイロ	41		黎車	の実施	Z T	13%	十尺				
0	动色	① ≠ E		्रक्र≢∓≭			ジ大 ル							
8	対象	力中長	2副市長 (水切白	ム人・安	人)								
		◎姉妹	都市「宮崎市」	との交	流									
9	。事業の													
	♥ 目的 ◎友好都市「中国・洛陽」との友好・親善													
	改善内	2	1 拡大する	3 2 5	見直しながら	ら続ける	3 縮小する	4 廃止又	は休止する	5 完	了する			
	容を踏													
10	まえた	六 海伊	准が四温に図り	コストニ	. 扣手方/	上油級を	を密にし、効率	めた車移処理を	行う					
	今後の	义则证		1000	· 187/JC	- 注响で	ではにし、効率	可る事物が正式	בוז ט					
	方向性													
		O T/III -												
			者の出張に伴え者(公人・要)		l 10/13									
			市】・春の神声	、学、学	の森フェス									
	事業の	7.4.0	・まつりえ	れこっ	ちゃみやる	ざき、彼	神幸祭、橿原	と宮崎の物産風	₹					
11	内容	【小屏	洛陽】	が親苦む	問、市民語	力问回号	Ŧ							
	(手法)	平成3	BO年度からの											
		拡充	で・変更内容											
			昔置を必要とする のに限る)											
	指標の		-151 -7		20	 年度	30年度	31年度	32年度	٨				
	担信の推移		名称 (単位))		十 <u>/2</u> 	(見込み)	(見込み)	(見込み)	\dashv \				
12	成果指標				\mu\d11	コマル	(元之07)	(元四//)	(元四)	\dashv \				
14										-	\ l			
	活動指標										\			
	2	LLL T 12					/··	/=·	2- · · ·		\			
			単位:千円)]予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		\			
歲出(直接事業費)(a) 748 748 748 748 748											\			
13	歳入(b)		受益者負担額								\			
	国県補助金等その他													
	(a)	- (b) = 一般	財源	74	48	748	748	748		\			
14	増額理由	¥	継続事業											
	備 考													

平成30年度 実施計画 (継続事業) (内部管理・維持管理事業)

	事務事業の概要													
1	事務事	業名				1	負担金等納付	事業						
2	担当部	陷	総務部		担当課名		秘書課	課	長名	竹村	八栄			
	/// ^ =17	F 6	目指す都で		10	信頼さ	される行政を選	進めるまち						
3	総合計で 位置で		施	策	6	_								
	╙╚╸	717	今後の取	ね	1	_								
4	総合戦闘		基本目標	漂										
4	位置つ		基本的方	iÓ										
	/ 	· · · · ·	重点項目	∃										
5	行革大統 位置つ		項	3										
	いにっ	717	改革名	3										
6	予算事	業名					総務管理事務	务費						
7	事業開始	年度			年度		事業終了年	度	平成	年度				
					事	努事業	の実施							
8	対象	市長・	副市長・関係国	団体										
9	事業の 目的	を行い	限下各市及び近畿地区並びに、全国の市長で組織された会合で連絡・協調を図るとともに、情報収集分の、市政運営に役立てる。 会良県市長会や近畿市長会・全国市長会を通じて県や国の各省庁への要望活動 2 1 拡大する 2 見直しながら続ける 3 縮小する 4 廃止又は休止する 5 完了する											
	改善内	2	1 拡大する	る 2 見	直しながら	続ける	3 縮小する	3 4 廃止3	スは休止する	5 5	売了する			
10	容を踏 まえた 今後の 方向性	効率的	な事業への参加	加、運営										
11	事業の 内容 (手法)	○近畿○全国○奈良	県市長会 市長会 市長会 県副市長会 県市町村長サ	ミット										
	\ <u>.</u>	拡充 (予算指	3 0年度からの ・変更内容 昔置を必要とする のに限る)											
	指標の		名称(単位)	<u> </u>	29:	年度	30年度	31年度	32年度	₹ \				
	推移		台炒(干 唑.) 	(総計目	目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み) \				
12	成果指標										\			
	活動指標													
	泊動拍標 <u></u> ②										\			
	コストの	推移(単位:千円)		(当初	予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	\			
	歳	出(直	接事業費)(a	1)	3,2	47	3,247	3,247	3,24	7	\			
13	歳入(b)		受益者負担額	額							\			
	威八(D)		国県補助金等そ	で他							\			
	(a)	- (b) = 一般	別源	3,2	47	3,247	3,247	3,24	7	\			
14	増額理由	糸	継続事業											
					備	i	考							

		事務事業の概要													
1	事務事	業名					<u> </u>	関係団体調整	事務						
2	担当部	沼名	総	合政策部	担	当課名		企画政策課		課長名	3	山本	久敬		
	4 公 △= ±ī	±i Λ		指す都市作	象	10	信頼さ	れる行政を対	進める	ぶまち					
3	総合計画			施策		6	-								
	匹色ン	<i>,</i> 1, <i>j</i>	¥I.	今後の取組											
4	総合戦闘			基本目標											
†	位置つ	がけ	基	基本的方向											
	<i>⁄</i> −₩+ <i>⁄</i>))		重点項目											
5	行革大約 位置つ			項 目											
		.,		改革名											
6	予算事	業名			企區	画調整事	務費、	国際交流推進	進費、	地域政策	事業費				
7	事業開始	年度		平成	一	丰度		事業終了年	度	平月	戓	年度			
						事	務事業	の実施							
8	対象	各種団	体												
9	事業の 目的	各種団	体から	から様々な最新の情報を入手し、業務効率の向上や地域コミュニティの充実をはかる。 拡大する 2 見直しながら続ける 3 縮小する 4 廃止又は休止する 5 完了する											
	改善内	2	1	拡大する	2 見画	直しながら	続ける	3 縮小する	3 4	4 廃止又は	休止する	5 5 完	記する		
10	容を踏	負担金	見直し	ンを行い、 7	下必要な	なもの精 る	査しコス	くト低減に努め	්ටි.						
11	事業の 内容 (手法)	 ・企画調整事務費 北方領土返還奈良県民会議負担金(15,000円) 平和首長会議メンバーシップ給付金(2,000円) ・国際交流推進事業費 奈良地域留学生交流推進会議負担金(19,000円) 													
		拡充 (予算指	・変見	一個とする											
	指標の		名科	尓 (単位)			年度	30年度	 	1年度	32年度	 \			
	推移		17.	J: (十 I <u></u> I <u> </u>		(総計E	目標値)	(見込み)	(₹	見込み)	(見込み) \			
12	成果指標											\	\		
	活動指標②														
	コストの	推移(単位:	千円)		(当初	予算)	(予算要求)	(5	見込み)	(見込み	.)	\		
	歳	出(直	接事業	養)(a)		1	74	174		174	174		\		
13	歳入(b)		受益	益者負担額									\		
	版人(D)		国県補	助金等その	他								\		
	(a)	- (b)	二 一般財	源	1	74	174		174	174		\		
14	増額理由	糸	継続事	業											
						備	Ī	考							

	事務事業の概要												
1	事務事	業名			国・原	₹から(の権限移譲に	かかる調整事	務				
2	担当部	陷	総合政策部	3	担当課名		企画政策課	課長	名	山本	久敬		
	//\ A = 1 =		目指す都で		10	信頼さ	れる行政を進	進めるまち	,				
3	総合計で 位置で		施	ŧ	6	_							
	山垣~	71)	今後の取	組									
	総合戦	略の	基本目標	票									
4	位置つ		基本的方	Ó									
			重点項目	1	2	選択と	集中による行	 T政経営					
5	行革大統		項		1	事務事	業の見直し						
	位置つ	ハフ	改革名		10		<u> </u>						
6	予算事	工	3, 1	L		,	企画調整事務						
7	事業開始		平成	_	年度		事業終了年			年度			
	3 21412 376	- 1/2	1 //24			務事業	の実施			1/2			
8	対象	職員・	<u></u> 国·県		-5-0								
_	7320	1712											
9	事業の	用・貝	・県からの権限移譲の情報や具体的な事務処理等の連絡調整を行い、市側の受け入れ体制を整える。										
	目的		・県からの権限移譲の情報や具体的な事務処理等の連絡調整を行い、市側の受け入れ体制を整え										
	改善内	2	1 拡大する	3 2 見	直しながら	続ける	3 縮小する	4 廃止又	は休止する	5 5	記する		
	容を踏												
10	まえた 今後の		権改革として国								調整及び		
	方向性	文人化	態勢の整備を行	10 CM	< C C T I	-、 合詞	に同知を図り	史はる事務の	の争10を進め	りる。			
	70.0.												
			からの権限移詞との連絡調整を							じないよ	こうに、		
	事業の		この建和調金で	11J J C	C DIC, II	Ն Կ ս ս ս ս ս	加金で図り、	文人化学別で	宝用 9 る。				
11	内容 (手法)												
	(3 /4/	平成3	30年度からの										
			・変更内容 5 5 5 5 5 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8										
			のに限る)										
	指標の		夕秋(当点)	`	29	年度	30年度	31年度	32年度	\			
	推移		名称(単位))	(総計E	目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)	$\Box \setminus$			
12	成果指標										\		
	(1)												
	活動指標 ②												
	コストの	推移(単位:千円)		(当初	予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		\		
	歳	出(直	接事業費)(a)	()	0	0	0		\		
13	<u> </u>		受益者負担額	頂	()	0	0	0		\		
	歳入(b)		国県補助金等そ	の他	()	0	0	0		\		
	(a)	- (b) = 一般	財源	()	0	0	0		\		
14	増額理由	新	継続事業										
					備	Ī	考						

	事務事業の概要												
	古水市	** <i>(</i> 7			= 1			##					
1	事務事		//\\ _\ The for the	, _		ンフ	イセールス推		72	.1			
2	担当部	路	総合政策部		2当課名		企画政策課	課長	2	山本 久敬			
	総合計	画の	目指す都市		10	信頼さ	される行政を必	進めるまち					
3	位置 (施第	HZ	6	-							
			今後の取	組									
_	総合戦闘	略の	基本目標	票	3-2-2	新たな	え人の流れやる	交流を増やす					
4	位置つ	がけ	基本的方	向	1	「橿原	」の魅力を広く	く発信する					
			重点項目	3									
5	行革大統		項 E	1									
	位置つ	לול	改革名	,									
6	予算事	 業名		<u> </u>		シテ	ィセールス推	推事業費					
7	事業開始		平成	24	年度		事業終了年		成	 年度			
<u> </u>	于木州儿	J T /X	1 150	2-		&車 業	の実施		150	一人			
8		市民			= 1	ルヂ禾							
0	- 刈家	ישטי	国内3.2 k										
	橿原市の魅力を様々な媒体を活用して全国にPRをすることにより、橿原市を知っていただき、本市を 事業の 訪れるきっかけとなる。また、本市が有する魅力ある歴史遺産や街の素晴らしさを市民に再認識してい												
9	事業の 訪れスきっかけとなる また 木市が有する魅力ある歴史遺産物街の表情らしさを市民に再認識してい												
		PRする	ることで人口減れ	少を食い	止めるこ	とにも	寄与する。						
		1	1 拡大する	3 2 見	直しながら	続ける	3 縮小する	3 4 廃止又(は休止する	5 完了する			
	改善内容を改												
10	容を踏 まえた									今後に影響する			
	今後の	事業が ても本	進められてあり	ハ、これが な存画認識	つど饿にて 識していた	さりに信 うだける	ii原巾のンティ Sように努める	セールスを図っ 。また、本市の	つていて。ま D良さや魅力	た、市民に対し がどこにあるの			
	方向性		し、効果的に実					0 0,000					
			ィア及び物品を										
			ンディング確立 24年度より、					, 業務提携を	行っている.				
	事業の		等を活用したシ						13 2 (0 1 (0)				
11	内容	●冊子	の販売										
	(手法)	π. 	いの左连からの										
			3 0年度からの 記・変更内容										
		(予算指	措置を必要とする										
	+K+= ~	ъ	のに限る)		000	生	20年度	0.4 左座	20/5 🛱	1			
	指標の 推移		名称(単位))		年度	30年度	31年度	32年度	\			
 		+	1 .0	h-		目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)	_ \			
12		•	ムページ閲覧数	•		0,000	6,700,000	6,900,000	7,100,00	\			
	活動指標 ——		市民招待参加者	数(人)		00	200	200	200	\			
	2		売額(円)		50,0	000	60,000	70,000	80,000	<u> </u>			
l .	コストの	推移(単位:千円)		(当初	予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	_ \			
		出(直	接事業費)(a))	15,0	D74	15,482	15,500	15,500	\			
13	歳入(b)		受益者負担額	頁						\			
			国県補助金等そ	の他	2,7	00	0	0	0	\			
	(a)	- (b) = 一般	財源	12,3	374	15,482	15,500	15,500	` <u> </u>			
14	増額理由	¥	継続事業				•	•		•			
					備	i	考						

	事務事業の概要												
1	事務事	業名			第4次総額	合計 画	<u>基本</u>	構想前期	基本計画第	定業務			
2	担当部	名	総合政策	部	担当課名		企画正	攻策課	課長	名	山本	. 久敬	
			目指す	都市像	10	信頼	される行	_丁 政を進&	かるまち				
3	総合計		施	策	6	_							
	位置了	ソブ	今後の		Ŭ								
lacksquare	⟨ ⟨⟨ ⟩ ⟨ ⟩ ⟨∨⟨ ⟩ ⟨⟨⟩		基本										
4	総合戦闘を												
		717	基本的	,,,,,	0	755 +□	\- (= 	- L フ/=T	- F V \ Z \ Z \ Z \ Z \ Z \ Z \ Z \ Z \ Z \				
	行革大	細の	重点項		2			よる行政					
5	位置		項		4					ミマネジメン	トサイ	クルの確立	
			改革	: 名	27	橿原	市総合記	画の更な	ふる活用				
6	予算事	業名					企画調	整事務實	ŧ				
7	事業開始	年度	平月	成 30	年度		事業	終了年度	긔	7成 31	年度		
					事	務事業	の実施						
8	対象	市民、	職員										
	- * -												
9	事業の 目的	期間中	期総合計画を策定するにあたり、平成30年から平成31年を策定期間と位置づけ、第3次総合計画間中に定めた「橿原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「橿原市人口ビジョン」や「行政改革網(H25からH29)」などの諸計画を整理し、包含した計画を策定していく。 1 拡大する 2 見直しながら続ける 3 縮小する 4 廃止又は休止する 5 完了する										
	改善内		1 拡大	する 2	見直しながら	う続ける	3 3	縮小する	4 廃止又	には休止する	5	完了する	
10	容を踏 まえた 今後の 方向性		る諸計画の記述行上も運用								こでき	るなど、行	
11	・コンサルとの委託契約を行う ・方針の整理 ・基礎調査(第3次総合計画の検証・現状の課題の把握・市民意向調査) ・基本構想・基本計画・総合戦略・行政改革大綱の策定(職員のワークショップ・審議会(仮称)での 答申・市民委員会(仮称)での意見収集・パブリックコメント等)										仮称)での		
			措置を必要とす。 のに限る)	る									
	世帯へ				20	 年度	20	年度	31年度	32年度	٨		
	指標の 推移		名称 (単	位)							\dashv \		
ا _ را					(総計)	目標値)	(見)	<u>\</u> み)	(見込み)	(見込み)	— '	\	
12	成果指標		+0 =										
	活動指標——	基本構								1000		\	
	2	前期基	本計画 冊	子						500		\	
	コストの	推移(単位:千円)		(当初]予算)	(予算	要求)	(見込み)	(見込み)		\	
	歳	出(直	接事業費)	(a)			45,3	388	18,172	0		\	
13	#50 (1)		受益者負	<u></u> 坦額								\	
	歳入(b)		国県補助金等	その他								\	
	(a)	- (b) = -	-般財源			45.	388	18,172	0		\	
14	増額理由			(1007	田以上一一	12tan		お選びと	3(N)				
					備	±	考						
					VH	9							

実施計画 第4次総合計画 基本構想前期基本計画策定業務(企画政策課)

					Ī	事業の身	具体的内	内容の検討				
			番号	1	義務	法律等	(条例を	を除く)で記	義務付けら	られた事業		
			2			法令名	()
				2	任意	公共性	や収益性	生の観点から	ら市が関与	すべき事業		
15	妥当性 の検討	なぜ市が 関与して いるのか	説明							策定義務がな< てはならない言		
16	緊急性 の検討	なぜ今な のか	説明	これな	うの橿	原市の新	fたなま		進めるに	ら平成29年月 あたり、平成3		
			1		1 高い	1	2	やや高い	3	やや低い	4 但	並し り
17	有効性	期待され る効果・ メリット	説明	「策成と創意本市に 画とす	Eしなく 意工夫の こおいて する従来	てよい」 発揮を其 も、基本 の考えた	ではな 明待する k構想及 5を継承	く、「地方」観点から び総合計画 し、市民に	分権改革 措置され はまちづ とってわ	の策定義務がた 推進の中で、市 たものである。 くりの将来像を かりやすく職員 め効率的な市所	5町村の自主性 5示す本市の間 員にとっては過	生の尊重 最上位計 運用しや
17	の 検討				1 高い	1	2	やや高い	3	やや低い	4 但	Ēίλ
		上位施 (総合計 (画・基本) (国・画) (国 も) (国 も) (因 も) (() () () () () () () () ()	説明									
			4		1 🗐	事業費も	人件費も	<u>———</u> 低減	2	人件費は増加す	するが事業費は	低減
			4	3	事業費	は増加す	るが人件	‡費は低減		4 事業費も	人件費も増加	
			補助金等	等の有無	無	補助金名	3 ()
18	効率性 の 検討	コストの 検証(費 用対対証を 含む)	説明		5らゆる 5コスト			こともあり	、策定に	至るまでにはB	時間・人等が』	必要なこ

	T1%, C	0 45	2 大心可巴	l .		尹未り			(我幼儿	尹未 ノ	
					事	務事業	の概要				
1	事務事	業名					統計調查事	務			
2	担当部	陷	総合政策部	3	担当課名		企画政策課	課長	名	山本 久敬	
	//\ \ \ \ = 1 :		目指す都市	5像	10	信頼さ	れる行政を	進めるまち	•		
3	総合計 位置つ		施 第	년 년	6	-					
	四国 >	717	今後の取	組							
	総合戦闘	略の	基本目標	E							
4	位置つ		基本的方								
			<u> </u>								
5	行革大統										
	位置つ)け									
6	予算事	業 夕				上 統計	調杏宝森費	住宅・土地組	· · · · · · · · ·		
7	事業開始		平成	<u> </u>	年度	*/JUUUT	事業終了年		Z成 —	<u>年度</u>	
'	尹木所以	一个人	十八			於重 業	の実施	-/文 ¬	-194	十尺	
8	対象	久锸甘:	幹統計調本安々						早仕老		
8		合性至:	针视词 随且合作	√, Ih⊠	、争未日、	77 C T 619	直見及U拍等	f	正供日		
9	事業の 目的	統計調	幹統計調査事務 査員の適正数を 計調査や橿原市	確保し	、調査員の	の能力や					
	改善内	2	1 拡大する	3 2 見	直しながら	続ける	3 縮小する	3 4 廃止又	は休止する	5 完了する	
10	容を踏 まえた 今後の 方向性	調査客を表	体に対し、調査 調査を円滑に進	の目的	や必要性な	まどの啓	発に努めてい	١<.		民を中心とした	
11	事業の 内容 (手法)	必要である。 法定受託事務として、調査員が調査区ごとに訪問調査を行う。 毎年度:統計調査員確保対策事業 平成30年度:工業統計調査、住宅・土地統計調査 平成31年度:工業統計調査、全国消費実態調査、農林業センサス、経済センサスー基礎調査 平成32年度:国勢調査、工業統計調査 平成30年度からの 拡充・変更内容 (予算措置を必要とする 「本記書」である。 平成30年度:住宅・土地統計調査 平成31年度:全国消費実態調査、農林業センサス、経済センサスー基礎調査									
	 指標の		 ())(1)		29	年度	30年度	31年度	32年度	1	
	推移		名称(単位))		目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)		
12	成果指標	調査回	 数			2	2	4	2	 \	
	(1)						_	,	_	 \	
	活動指標 ②									\	
	コストの	推移 (肖	首位:壬四)		(当初)予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	-	
			<u>F四・1 ロン</u> 妾事業費)(a))		386	6,508	13,318	57,351	\	
13			受益者負担答		۲+,С		2	2	2	\	
13	歳入(b)	F	文画有見担命 県補助金等そ		10	317	5,939	13,040	57,138	_ \	
	(6)		□ 宗補助並寺で□ 一般			61 <i>(</i> 69	5,939	· ·	211	<u>'</u>	
				zu /is	1 36	J	307	276			
14	増額理由	介	迷続事業		н	<u> </u>	=				
					備	1	考				

	平成ら	り年は	支 美胞計画	J	(事業)		(ソフト	`(仕思)	<u> 手兼 <i>)</i> </u>			
					事	務事業	の概要						
1	事務事	業名			多t	世代交流	流型コミュニ	ティ形成事業					
2	担当部	侶	総合政策部	3	担当課名		地域創造課	課長	名 :	若森 睦司			
			目指す都で	卡像	10	信頼さ	られる行政を対	進めるまち	•				
3	総合計		施	ŧ	6	_							
	位置つ	לול	今後の取	組									
	総合戦闘		基本目標		3-2-2	新たた	で人の流われる	交流を増やす					
4	位置 2		基本的方	-	3		への移住を促ぶ						
			重点項目		9	"鱼(小)"	(0)19 II 2 IE I	E 9 Q					
5	行革大	綱の		<u> </u>									
5	位置了	づけ											
_	マケキ	** /7	改革名			1164	<u>-+</u> ^ナヽナ 。。+++ \/+	丰 业					
6	予算事:		I		— -	1世)	或活性化推進		- 15				
7	事業開始	年度	平成	27	年度		事業終了年		成 一	年度			
						務事業	の実施						
8	対象	市民お	よび市への移住	主希望者	Ž								
9	事業の 目的	の新た	な人の流れを地	曽やす"	ことを実現	見するだ	がに、首都圏	合戦略」の基 の奈良ファンや 活性化に寄与す	か、奈良に縁	である"橿原/ や愛着のある子 的とする。			
	改善内 1 1 拡大する 2 見直しながら続ける 3 縮小する 4 廃止又は休止する 5 完了する												
10	容を踏 ○ まえた 今後の 方向性 一 お住促進に関する様々な取組みや、移住者を受け入れるための民間活力による組織を構築 し、橿原市への移住希望者が増加するような事業展開を進める。												
11	事業の 内容 (手法)		業者・各種民間 指した事業展開			主促進を	E展開する組織	を構築すること	こで、コスト	縮減や持続的発			
		拡充 (予算指	〇年度からの 5・変更内容 計置を必要とする のに限る)										
	指標の		名称(単位)) — <u> </u>	29	年度	30年度	31年度	32年度				
	推移		台 柳(半世))	(総計[目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)	$\exists \setminus$			
12	成果指標									\			
	1	移住ナ	ビの閲覧回数		50	OC	750	1000	1250	 \			
	活動指標 ②									\			
	コストの	推移(鱼	 単位:千円)		(当初]予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	┐ \			
			接事業費)(a)	10.0	000	10,000	12,000	12,000	\			
13			受益者負担額		. 3,		,			\			
	歳入(b)	F	国県補助金等そ							\			
	(a)		b) = 一般		100	000	10,000	12,000	12,000	<u> </u>			
1/1	増額理由		ビグー	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	10,		10,000	12,000	12,000				
-	地识土山	11	でルチ木			ŧ							
					VΗ	В	5						

	事務事業の概要												
					事								
1	事務事	業名				社会資	資本総合整備	計画業務					
2	担当部	『名	総合政策部	3	担当課名		地域創造課	課長	名	若森	睦司		
			目指す都市	5像	10	信頼さ	れる行政を過	進めるまち					
3	総合計			FID	6	_							
	位置つ	ハフ	今後の取	組									
	総合戦	IV (A)	基本目標	-									
4	位置 2		基本的方										
		.,,	重点項E										
5	行革大:	綱の											
5	位置了	づけ											
_	マケキ	ж Б	改革名)		11L	<u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>	+ = **					
6	予算事	-	— h		<u></u>	IL	域活性化推進		15				
7	事業開始	计模	平成	22	年度		事業終了年	度 平	成 一	年度			
		1				務事業の							
8	対象	社会資	本総合整備計画	正基づ	く社会資本	本整備総	合交付金事業						
9	EN ことを目的とする。												
	改善内	2	1 拡大する	2 月	直しながら	5続ける	3 縮小する	4 廃止又	は休止する	5 5	完了する		
10	容を踏 まえた 今後の 方向性 大する。												
11	事業の 内容 (手法)	断的に	実施する担当部 取りまとめる。 が達成できるよ	その上	で、問題が								
	(0 , 2 ,	拡充 (予算措	〇年度からの ・変更内容 計置を必要とする のに限る)										
	指標の		名称(単位)	,	29	年度	30年度	31年度	32年度	_\			
	推移		一切(半世 <i>)</i> 	<u>'</u>	(総計E	目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)	_]\			
12	成果指標	第2期	整備計画		10	00	_	_	_	\	\		
	1	第3期	整備計画		_	_	20	40	60		\		
	活動指標 ——②	重点計	<u> </u>		2	<u>2</u> O	40	60	80		\		
			 単位:千円)]予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		\		
)		32	125	423	125		\		
1.3	13 受益者負担額												
	歳入(b)	E	文皿日気120 国県補助金等そ								\		
	(=)				Λ.	32	125	423	105		\		
4.4) — (幻 派	40	52	120	423	125		<u>'</u>		
14	増額理由	兼	迷続事業				===						
					備	1	考						
第2	2期整備計画	は平成29	9年度に終了し、	平成30	年度から第	3期整備	計画となる						

		事務事業の概要事務事業名自衛官募集事務事業												
1	事務事	業名				É	衛官募集事務	8事業						
2	担当部	诏名	市民活動部	3	担当課名		市民協働課	課長	名	北場	美加			
	/// ^= 1;	- •	目指す都内	5像	10	信頼さ	される行政を進	進めるまち						
3	総合計で 位置で		施	ŧ	6	_								
	いにっ	717	今後の取	組										
4	総合戦闘		基本目標	票										
4	位置つ		基本的方	Ó										
		√ □ ↑	重点項E	∃										
5	行革大統 位置つ		項 E	∃]										
	匹但 ~		改革名	2										
6	予算事	業名					その他諸費	表						
7	事業開始	年度	平成	_	年度		事業終了年	度	7成 ー	年度				
					事	 多事業	の実施	•						
8	対象	16歳	以上の市民											
9	事業の 目的	自衛官	等の募集に係る	3事務の	実施									
		2 1 拡大する 2 見直しながら続ける 3 縮小する 4 廃止又は休止する 5 完了する												
	改善内	Z T JAKY O Z TIE OKA SHOULD O HEN'S O TREEKINES O TIES SO												
10	容を踏 まえた													
10	今後の	自衛隊	衛隊橿原地域事務所と連携、協議し、より効率的な広報等の方法を検討していく。											
	方向性													
	ļ													
	!		等募集に関する						会の実施等	等。自衛區	 遂法第97			
	事業の	条第1	項・地方自治法	場と余	第9垻第1	号に左	とつく法定受託	事務である。						
11	内容 (手注)													
	(手法)	平成3	30年度からの											
	!	拡充	で・変更内容											
	!		昔置を必要とする のに限る)											
	指標の				299	年度	30年度	31年度	32年	度				
	推移		名称(単位))		目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込る	─ ── \ \				
12	成果指標									'	\			
	1	広報誌	 への掲載回数		3	3	3	3	3					
	活動指標 ②										\			
F'	_	推移 (È	 単位:千円)		(当初	予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込る	ን	\			
)	5	7	69	76	69)	\			
13			受益者負担額				0	0	0		\			
	歳入(b)		国県補助金等そ		3	9	39	39	39)	\			
	(a)		b) = 一般			8	30	37	30		\			
14	増額理由	1	継続事業											
							考							
İ														

	1 // 0	・											
	古双击	*** 			李			7 **					
1			+	.n					-m = 2	1 11	.10 ***		
2	担当部	14名	市民活動部		担当課名		市民協働課		課長名	l	3場 美加		
	総合計	画の	目指す都で		10	信頼さ	される行政を	進めるま	ち				
3	位置 (施	策	6	-							
			今後の取	細									
	総合戦闘	略の	基本目標	票	3-2-3	若いt	せ代の結婚・	妊娠・出	産・子育	ての希望	をかなえる		
4	位置つ		基本的方	向	1	結婚し	たいと思う	人を支援	する				
			重点項目	1									
5	行革大												
	位置了	づけ	改革名										
6	予算事	举夕	以手で			幺士		車業					
			77 ct	00	左连	不			ਜ਼ 🕂	<i></i>	- -		
7	事業開始	3年度	平成	29	年度	24- 	事業終了年	-	平成	4	度		
		l = ·				扮 事業	の実施		0000000	2000000			
8	対象	結婚を	したいと思う。	人、その	周辺の人								
9	事業の 目的		ベント等の出 婚できる環境を			結婚支援	爰をする人づく	(りをおこ	こなうなど、	若い世代	の結婚したい		
	改善内 1 1 拡大する 2 見直しながら続ける 3 縮小する 4 廃止又は休止する 5 完了する												
10	容を踏												
11	・婚活イベントなどの出会いの場を提供する民間事業者の活動を補助金で支援する。 ・結婚支援をする人づくりをおこなうため、「かしはら結婚サポーター」を育成する。 ・結婚したい人及びその周辺の人を対象としたセミナーを実施する。												
		拡充 (予算指	8 0年度からの 6・変更内容 5 0 0 に限る)	フォロー	アップをお	おこなう。	ーター育成を実 。 対象とした結婚				-ター登録者の		
	指標の		夕称(当片)	29	年度	30年度	31년	手度	32年度	\ _ 		
	推移		名称(単位)	(総計[目標値)	(見込み)	(見込	ふみ)	(見込み)]\		
12	成果指標										1 \		
		婚活イ	ベントの開催[回数	1	0	10	10)	10	1 \		
	活動指標 ②		・出前講座の			<u> </u>	10	1(10	\		
┞				へいじ女人				+			\		
			単位:千円)	`]予算)	(予算要求)	(見込		(見込み) O O C E	\		
		出(直	接事業費)(a		1,8	344	2,865	2,8	00 1	2,865	\		
13	歳入(b)		受益者負担	-							\		
	, 3.07		国県補助金等る	で他		22	1,182	1,18		1,182	1 ,		
	(a)	<u> </u>	b) = 一般	財源	92	22	1,683	1,6	83	1,683			
14	増額理由	析	継続事業										
					備	į	考						

	十八	0 45	文 大心可凹			尹未		())		予未 ノ			
					事	務事業	の概要						
1	事務事	業名				白	民異動等事務	务事業					
2	担当部	陷名	市民活動部		担当課名		市民課	課長	名	奥村 美保			
			目指す都市	像	10	信頼さ	される行政を選	進めるまち	•				
3	総合計		施策		6	_							
	位置つ	フリフ	今後の取約	В									
	総合戦	図の	基本目標										
4	位置 1		基本的方向										
			重点項目	-J									
5	行革大	綱の											
5	位置了	づけ	項目										
_	マケキ	ж Б	改革名			_		\E#					
6	予算事		an to			F	「籍住民基本台 「 ま*** 40.3.5		1_	ter city			
7	事業開始	详度	昭和		年度		事業終了年	技 平	.成	年度			
					事	務事業	の実施						
8	対象	橿原市	居住者										
9	事業の 目的	居住実	態に合致した正	確な住	民登録を行	うう。							
	改善内	2	1 拡大する	2 !	見直しながら	ら続ける	3 縮小する	る 4 廃止又	は休止する	5 完了する			
10	容を踏 ○ まえた 今後の 方向性 方向性 方向性												
11		の場合	転出・転居等の は、本人の旧住 施する。										
		拡充 (予算指	O年度からの ・変更内容 措置を必要とする のに限る)										
	指標の		夕称 (出点)		29	年度	30年度	31年度	32年度	\			
	推移		名称(単位)		(総計E	目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)				
12	成果指標	住民票	等届出件数		12,0	000	12,000	12,000	12,000	1 \			
	(1)	本人確	認送付件数			00	600	600	600	 			
	活動指標 ②									 \			
		推移 (È	<u> </u>		(当初]予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	┦ \			
			=!!!: 			50	150	150	150	\			
13		· · · (2)	受益者負担額				100	100	100	\			
	歳入(b)		国県補助金等その		20	 67	367	367	367	\			
	(~)		型			<u>17</u>	-217	-217	-217	۱ \			
				21 //ボ		1 /	211	211	-211				
14	増額理由	术	継続事業		1 ±1	<u> </u>	*						
					備	1	考						

	1 ///	事務事業の概要											
					手		****						
1	事務事	業名				戸	籍等届出事	多務事業					
2	担当部	8名	市民活動部	3	担当課名		市民課		課長1	2	奥村	美保	
			目指す都に		10	信頼さ	れる行政を	を進める	らまち				
3	総合計			[6	_	21101010						
	位置了	ブけ	今後の取										
	(() •) (()												
4	総合戦		基本目標	•									
	位置:	<i>)</i>)	基本的方										
	行革大	細の	重点項目	1									
5	位置に		項 E	3									
	<u></u>		改革名	5									
6	予算事	業名				F	籍住民基本	占帳費	Ì				
7	事業開始	台年度	昭和		年度		事業終了	年度	平	成	年度		
					事	務事業	の実施						
8	対象	標盾市	に本籍を定める	3考	-		- 5 7 410						
Ĕ	7325		10-1-46 CAL076	—									
	事業の	III I O	身分関係を公記	u オフル	・・・・の小笠で	➣‡‱蠓>₩	トが言いため	\\ ≥⁄q /	╲╫ ╧ ╒╫╟┼ <i>┰</i> ┦		· 10 .T.	(タブ)(タウカ	
9	日的		理、届出の簡素							子こだにみ	ツ近1	は人間大る	
		J-337		NIO CE		211.00							
<u> </u>										= 1			
	改善内	2	1 拡大する	5 2	見直しながら	う続ける	3 縮小	する 4	廃止又	は休止する	5	完了する	
	容を踏												
10 まえた 専門性の高い業務であるため、各						務であるため、各職員が戸籍に関する知識を増やし、窓口での適切な対応、的確かつ迅							
	今後の	速な戸	籍記載など、。	より質の	高い事務処	処理を行	う 。						
	方向性												
		山井か	に死亡きでのな	7 括 三 猝	日金の平口	⊞┰ӡҞӓ	致加油大仁	。 三年	年巳妻の平	いまについて	- <i>1</i> -+ 1	明点はにも	
			ら死亡までの名 24時間体制を										
	いても24時間体制を確保している。届出書を受理後、審査し戸籍システムにて入力作成、非本籍分に 事業の ついては該当市町村へ発送する。戸籍の記載作成においては誤記等の点検を十分行う。												
11	内容												
	(手法)	_											
			30年度からの 記・変更内容										
			世紀を必要とする										
		ŧ	のに限る)										
	指標の		名称(単位))	29	年度	30年度	3	1年度	32年度	\		
	推移		口炒 (半世)	,	(総計目	目標値)	(見込み)	(!	見込み)	(見込み)			
12	成果指標	戸籍作	成にかかる日数			3	3		3	3		\	
	1	戸籍届	出受理件数		42	200	4200	4	200	4200		\	
	活動指標 ②		成件数			800	4800		800	4800		\	
Н			<u>/%/ </u>)]予算)	(予算要求)	_	見込み)	(見込み)		\	
] ,)								\	
			接事業費)(a	-	8,4	139	6,441	0	,492	6,541		\	
13	歳入(b)		受益者負担額									\	
			国県補助金等そ			30	130		130	130		\	
	(a)) – ($b) = -\Theta$	財源	8,3	309	6,311	6	,362	6,411			
14	増額理由	S il	継続事業										
					備	•	考						

	1 /// 0	事務事業の概要											
	± 20 ±.	W /2					- 111023	·	1 %				
1	事務事		ナロバチャ	n l					- ド交付事		cfn +→		
2	担当音	N名 	市民活動音		担当課名		市民記		課長	名	奥村	美保	
	総合計	画の	目指す都で	1 1231	10	信頼さ	される行政	火を進め	りるまり				
3	位置つ		20 -	表	6	-							
			今後の取										
4	総合戦闘を		基本目標										
		וו	基本的方										
_	行革大	綱の	重点項目										
5	位置了			7									
	マ質す	₩ <i>Q</i>	改革名	á			5年12日 1	ŧ ↓ ∠>₼	E#				
6	予算事	-	π ↔	07	左连		籍住民基			7 C 	左曲		
7	事業開始	5年度	平成	27	年度	747 1	事業終	」年度	4	7成 -	年度		
	动色	스士모			事?	份争某	の実施						
8	対象	全市民											
9	事業の 目的		利便性の向上、 し、個人番号				公正な社会	の実現	のため、通知	知力ード及て	が個人	番号カード	
	改善内 2 1 拡大する 2 見直しながら続ける 3 縮小する 4 廃止又は休止する 5 完了する												
10	容を踏 つ まえた 今後の 方向性 一 方向性 一 フの平成32年12月までに、かしはら市民カードから個人番号カードへの切り替えを進めていく。												
11	事業の 内容 (手法)		ード・個人番号 務を行う。広報									な申請・交	
	\ G , _ _\	拡充 (予算指	3 0年度からの 近・変更内容 措置を必要とする のに限る)		二交付開始、 削費、郵便料					カードへの移 [:]	行が必	要となるた	
	指標の		名称(単位)	29	年度	30年月	支	31年度	32年度			
	推移		一个人手匹		(総計	目標値)	(見込み	h)	(見込み)	(見込み)] \		
12	成果指標	個人番	号カード交付数	数	10,0	000	15,00	00	20,000	30,000	C	\	
	活動指標	返戻さ	れた通知カー	ド残枚数	40	00	100)	100	0		\	
	2											\	
	コストの	推移(聲	単位:千円)		(当初]予算)	(予算要:	求)	(見込み)	(見込み)		\	
	歳	出(直	接事業費)(a	.)	19,6	696	12,23	30	10,537	16,294	1	\	
13	歳入(b)		受益者負担額	頭	25	53	389)	389	312		\	
	MW/ (U)	Ξ	国県補助金等そ	の他	17,	295	0		0	0		\	
	(a)	- (b) = 一般	財源	2,1	48	11,84	11	10,148	15,982	2		
14	増額理由	糸	継続事業	法律等				り、実施	他が義務付け	けられている	もの		
					備		考						

					事	務事業	の概要							
1	事務事	業名				<u> </u>	明書作成交付	事業						
2	担当部	『名	市民活動部	B 3	担当課名		市民課	課長	名 :	奥村	美保			
	₩	Н Э	目指す都市	卡像	10	信頼さ	される行政を進	重めるまち						
3	総合計で 位置で		施		6	-								
	四世~	717	今後の取	組										
4	総合戦闘	略の	基本目標	票										
4	位置つ	づけ	基本的方	Ó										
	/ □₩+/))	重点項目	3										
5	行革大統 位置つ		項	3										
			改革名	5										
6	予算事	業名				j	⋽籍住民基本・	台帳						
7	事業開始	年度	昭和		年度		事業終了年	度 平	成	年度				
					事	務事業	の実施							
8	対象	全市民												
9	事業の 目的		明書の発行業務		な審査のも	5と、迂	l速かつ正確に	行うとともに、	的確・適切	な説明	き行い、			
	改善内	2	1 拡大する	3 2 5	見直しながら	ら続ける	3 縮小する	3 4 廃止又	は休止する	5 5	完了する			
10	容 き え う 後 の 方 向 性	つの窓	明書専用窓口を新設することで、市民課で交付している証明書だけでなく多岐にわたった証明書を1の窓口で申請、交付することにより、多様化する市民のニーズに柔軟に対応し、わかりやすい市民ービスを提供する。											
11	事業の 内容 (手法)	関する	業務を行う。	系・住民	票関係・身	多分証明	旧関する証明	・税務関係証明	目等)の受付	・作成	文・発行に			
		拡充 (予算指	3 O年度からの を・変更内容 昔置を必要とする のに限る)											
	指標の		名称(単位))		年度	30年度	31年度	32年度	_\				
	推移		ロ10 ¹ (十四,	,	(総計E	目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)	_ \				
12	成果指標									\	\			
	活動指標 ②													
	コストの	推移(単位:千円)		(当初	予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		\			
	歳	出(直	接事業費)(a)	31,4	467	18,392	18,414	18,438		\			
13	歳入(b)		受益者負担額	<u>—</u>	28,9	932	30,472	33,382	36,292		\			
	NAVY (D)		国県補助金等そ	·の他							\			
	(a)			財源	2,5	35	-12,080	-14,968	-17,854		\			
14	増額理由	糸	継続事業											
					備	ī	考							

	- ,,,,,	<u>ر — ن</u>		•				())		· 	
			l .		手		の概要				
1	事務事	業名				証明	書コンビニュ	交付事業			
2	担当部	昭名	市民活動部	ß	担当課名		市民課	課長	名	型村 美保	
	/// A = 1:		目指す都に		10	信頼さ	される行政を対	進めるまち			
3	総合計位置に		施	耟	6	_					
	[四] _	717	今後の取	'組							
	総合戦	収の	基本目標								
4	位置了		基本的方	-							
			重点項目								
5	行革大	綱の									
5	位置了	づけ]							
	2 m=	W /2	改革名	ó [_		/\ \ = 			
6	予算事					F	籍住民基本台				
7	事業開始	年度	平成	29	年度		事業終了年	[度]	Z成 — 左	拝度	
					事	務事業	の実施				
8	対象	利用者	証明用電子証明	月書が付	いた個人を	番号力-	-ドを保有して	いる市民及び	橿原市に本籍を	定定める者	
	事業の	窓口で	の待ち時間がな	部. ゝ෭	易に証明	書を取得	 ■することがで	· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	全国のコンビニ	で市の業務時	
9	目的		おいても証明								
		1	1 拡大する	3 2	見直しながら	う続ける	3 縮小す	ス / 廃止て	には休止する	5 完了する	
	改善内	'	1 1/4/(9.6	ے ا		ט ליוטוור ט	O MB/1/9	0 + <i>I</i> EL	CIGNITIA	0)(1 9 8	
容を踏											
10	まえた 今後の		ニ交付サービス 上げる。それに								
	方向性	刊学で	上ける。てれば	_1+01,	念口での流	比末日八十枚	友们でイル 念口	リーヒスの間。	上も兄込みれる	O ₀	
	75151										
		利用者	証明用電子証明	月書が付	いた個人を	番号力-	-ドを利用して	、住民票・印	監証明書・戸籍	語謄本・戸籍附	
			得証明書・課程で、一年中(1)								
	事業の		明 (平日のみち]十二月及1105			
11	内容 (壬生)										
	(手法)	立成っ	 3 O年度からの								
		拡充	で・変更内容								
			措置を必要とする のに限る)								
 	世帯で				200	在庶	30年度	31年度	32年度	\	
Ī	指標の 推移		名称 (単位))		年度				- \	
		++ <i>t</i> 2 =			(統計E	目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)	- \	
12	成果指標		明書全発行数		-	_	7,650	15,300	22,950	\	
Ī	活動指標	コンビ	二交付での発行	丁率(%)	-	_	7	13	20	\	
	2									\	
	コストの	推移(単位:千円)		(当初]予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	_ \	
		出(直	接事業費)(a)	19,9	964	4,941	5,821	6,701	\	
13	# 7 / \		受益者負担額	頂			2,295	4,590	6,885	7 \ I	
	歳入(b)	[国県補助金等そ	の他						1 \ I	
Ī	(a)		b) = 一般		19.9	964	2,646	1,231	-184	1 \	
14	増額理由		<u> </u>		. 5,		,3 . 3	.,	101		
, 7		1				Ė į	考				
					νH	1	5				

	T /24 C	045				尹未/	'		'(正忠/	尹未)		
		1			事	務事業	の概要						
1	事務事	業名				É	B動交付機運F	用事業					
2	担当部	诏名	市民活動部	‡	担当課名		市民課	課長	名	奥村	美保		
	A = 1.		目指す都市	像	10	信頼さ	れる行政を対	進めるまち	•				
3	総合計		施策		6	_							
	位置つ	לול	今後の取組										
	総合戦闘	収の	基本目標										
4	位置つ		基本的方向	ก									
			重点項目	3									
5	行革大												
	位置了	づけ											
	予算事	サク マー	以半石				籍住民基本台	ンかきま					
6			₩.	10	左连				7.th 00	左连			
7	事業開始	3年度	平成	10	年度	7 1114	事業終了年		7成 32	年度			
	- L - D		· · · · · · · · · · · · · · · · ·				の実施						
8	対象	かしは	ら市民カード保存	有者	15歳以	上の程度	見市民 田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田						
9	事業の 目的		の待ち時間がなく が受けられる事						業務時間外に	こおい	ても証明書		
	改善内	3	1 拡大する	2 月	見直しながら	ら続ける	3 縮小する	る 4 廃止又	は休止する	5	完了する		
10	空を踏												
11	かしはら市民カードの保有により、住民票の写しや住民票記載事項証明書、印鑑登録証明書を自動交付機で交付している。市役所本庁に2台・保健福祉センターに1台設置しており、交付時間は、平日(午事業の)18時から午後7時まで)12曜日、日曜日、祝日(午前8時から午後5時まで)である。												
	\ G , _ _\	拡充 (予算措	O年度からの ・変更内容 措置を必要とする のに限る)										
1	指標の		名称(単位)		29:	年度	30年度	31年度	32年度	\			
	推移		一心(半世)		(総計E	目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)	\			
12	成果指標	住民票	等発行件数(件))	500	000	47500	45000	42500)	\		
	1	住民票	発行率(%)		4	O	30	20	10				
	活動指標 —— ②	印鑑証	明発行率(%)		8	О	70	60	50		\		
	コストの	推移(自	单位:千円)		(当初	予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		\		
			接事業費)(a)		2.8	317	2,965	2,965	2,965		\		
13			受益者負担額			272	13,050	10,140	7,230		\		
	歳入(b)	F	国県補助金等その)他	, 0,2		. 5,555	. 5, . 10	1,200		\		
	(a)				-13	455	-10,085	-7,175	-4,265	5	\		
11								<u> </u>	<u> </u>				
14	地识吐田	1 1	也心于木 X	14人人女	なもの追加		き	2 FEINER OF					
					VH		<u> </u>						

					事	务事業	の概要						
1	事務事	業名			IB	デイサ	ービスセンタ	アー補修工事					
2	担当部	侶	福祉部		担当課名		介護保険課	課長	名	吉村	元宏		
	//\ A = 1 =		目指す都に	市像	10	信頼さ	れる行政を進	重めるまち					
3	総合計 位置つ		施	ŧ	6	_							
		717	今後の取	.組									
	総合戦闘	略の	基本目標	票									
4	位置つ	づけ	基本的方	向									
		. -	重点項目	3									
5	行革大統 位置つ		項	3									
	四世。	717	改革名	7									
6	予算事:	業名			IB	デイサ	ービスセンタ	アー補修工事					
7	事業開始	年度	平成	30	年度		事業終了年	度 平	成 31	年度			
					事	务事業	の実施						
8	対象												
9	事業の 目的	平成	28年度に閉鎖	単した「	⁻ やわらぎの)郷ディ	′サービスセン	ター」の建物を	を適正に終	単持管理 9	する 。		
	改善内	1	1 拡大する	3 2	見直しながら	ら続ける	3 縮小する	3 4 廃止又	は休止する	る 5 !	完了する		
10	窓を踏)まえた 今後の 方向性												
11	「旧やわらぎの郷デイサービスセンター」に併設されている集客施設(温浴施設)に、悪影響を及ぼさないよう、臭気の原因となる水周りの封鎖及びカビの蔓延を防止するための内装処理、換気設備の増設等の工事を実施することにより、適切に建物の保全を図る。 また、将来に建物を再利用することが可能な状態を保つために、必要最小限の維持管理をおこなう。												
		拡充 (予算指	8 O年度からの 近・変更内容 昔置を必要とする のに限る)										
	指標の		名称(単位))	294	年度	30年度	31年度	32年	度			
	推移		石が (半位)	,	(総計目	目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込る	y)			
12	成果指標									'	\		
	活動指標②												
	コストの	推移(単位:千円)		(当初	予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込る	y)	\		
	歳	出(直	接事業費)(a)			1,500	10,000	0		\		
13	歳入(b)		受益者負担額	頂							\		
	MX/\ \D/		国県補助金等そ	の他							\		
	(a)	_ (b) = 一般	財源			1,500	10,000	0		\		
14	増額理由	¥	新規事業	(10075	円以上増額	Etast	理由をお選び	(ださい)					
					備		考						

実施計画 旧デイサービスセンター補修工事(介護保険課)

					事業の	具体的内容			. フラー 田 19-		
			番号	1 義務	法律等	(条例を除	く)で義剤	络付けら	れた事業		
					法令名	()
			2	2 任意	公共性	や収益性の	 観点からF	おが関与	すべき事業		
15	妥当性 の検討	なぜ市が 関与して いるのか	説明	維持管理が必	でいる 注、建物	ኂる。 勿を解体す ²			こいることもあ		
16	緊急性 の検討	なぜ今な のか	説明	響を及ぼして	しまうだ	こめ。 また、	適切に維	持管理を	犬態を放置すれ をしなれば、急 を未然に防ぐ必	急激に建物	の劣化が進
			2	1 高(۱,	2 4	や高い	3	やや低い	4	低い
	有効性	期待され る効果・ メリット	説明	併設施設へ を可能にする					tた、将来に建 E低減できる。	建物を再利	用すること
17	の 検討		2	1 高(/١	2 や	や高い	3	やや低い	4	低い
		上位施策 (総合計 画・基本 計画献度 の貢献度	説明	市民から付 反することと		ている財産	であり、適	正に維持	き管理せずに放	対置すれば	、施策に相
			3	1	事業費も	人件費も低流	或 	2	人件費は増加す	するが事業質	貴は低減
			3	3 事業費	遺は増加す	するが人件費	は低減		4 事業費も	人件費も増	סלל
			補助金領	等の有無 無	補助金額	名()
18	効率性 の 検討	コストの検証(費用対効果の検証を含む)	説明	補修工事の 務量の軽減が また、建物	図れ、	長期的には	初期費用の	回収は引		管理費と担	当職員の事

	事務事業の概要													
							争							
1	事務事								管理委員会					
2	担当部	『名	選挙	管理委員	会事務	易局	担当課名	選	管理委員会事	務局	課長名	f	岡本	好彦
	4 ₩ △ =±:	声の	E	目指す	都市	家	10	信頼さ	れる行政を	進めるまた	5			
3	総合計			施	策	/JI1	6	-						
		717		今後(の取る	組	1	_						
	総合戦	略の		基本	目標	Ē								
4	位置:			基本色	的方向	Ó								
				重点	項E	1	2	選択と	 :集中による1	 行政経営				
5	行革大			 項	E		1		業の見直し					
	位置つ	ンプ			<u>ニ</u> 革名		17		務の効率化					
6	予算事	 举 夕							管理委員会	国				
7	事業開始			VI.	 Z 成		年度	四十	事業終了年		平成		年度	
1	尹未用以	一十尺			-13%			務事業の		·/又	干风		十尺	
	动色	155 *** ***	n = -	ムチロ	155 TY	1 27 10 20				:MT+++-+	Th://>ごチャワ	15.T ATS ATS =± -	× +	0 0+00
8	対象	選手官坦	里安貝	云安貝、	選手。	人名溥登	球 看、選 筆 官	理委員会	事務局職員、他市	則	以 治 活 割 用	1証崇申請で	首、巾	氏、日本国氏
9	事業の 地方自治法に基づき設置されている選挙管理委員会の運営事業が円滑に行われること、公職選挙法及び 関係法令の定める事務等を管理することを目的とする。													
	9 目的 関係法令の定める事務等を管理することを目的とする。													
	7.5 **	2 1 拡大する 2 見直しながら続ける 3 縮小する 4 廃止又は休止する 5 完了す										完了する		
	改善内 容を踏									, ,		<u> </u>		
10	まえた	各投票	区の	位置な	り登録	者数を	考慮し、技	役票区の	見直しを行う	など、経動	貴の削減と	(有権者(の利何	更性の向上
	今後の	を図る	00											
	方向性													
		・各種	選挙	管理委	5員会	連合会		研修会へ	の参加 ・	政治活動用	用証票の発	 発行		
		・永久	選挙	人名簿	軍の登	發、 担	本の作成、	抹消等	•	国民投票			管理	
)本の作成、 ろ不在者投資		•					
l.,	事業の					定者の		ᅲᄱ						
11	内容 (手法)	・裁判	員候	補者予	定者	の選定	-							
	(3 /4)	平成3	30年	度から	の									
				更内容										
			百直を	必要とす 艮る)	90									
	 指標の				V / / .		29	年度	30年度	31年	宴 3	32年度	١	
	推移		名	称(单	単位)			目標値)	(見込み)	(見込み		見込み)	$\exists \setminus$	
12	成果指標	選挙管	理委	昌会開	見催厄]数	2	20	22	27		22	┪′	\
[1	~_ 5- 6	×		J, LE LE	-~`								
	活動指標													
)	推移 (単位·	· 士四/			(坐却]予算)	(予算要求)	(見込み	<i>t</i>) (見込み)		\
1	コストの推移(単位:千円)							122	3,292	3,74		3,303	\blacksquare	\
10	歳出(直接事業費)(a)						0	3,292	0,74	9 3	0		\	
13	3 受益者負担額 受益者負担額 国県補助金等その他							_						\
	/ \							0	10	10		10		\
	(a)		(b)		一般	以ぶ	<u> </u> 3,1	112	3,282	3,73	9 3	3,293		
14	増額理由		継続	事業			14	±	=					
							備	B .	考					

	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 												
					事	務事業(の概要						
1	事務事	業名					選挙啓発事	業					
2	担当部	侶	選挙管理委員会事	務局	担当課名	選	学 管理委員会事	務局 課長	名	岡本 好彦	NW1		
			目指す都市		10	信頼さ	れる行政を選	進めるまち					
3	総合計		施	ŧ	6	_							
	位置つ	ハノ	今後の取	組	1	_							
	総合戦	図の	基本目標		•								
4	位置 2		基本的方	· ·									
			重点項目		1	市民と	協働で進める	スクルませ					
5	行革大:	綱の											
5	位置了	づけ	項目		2		らの市民協働						
_	マケキ	** />	改革名	5	9	木米())有権者に対す						
6	予算事						選挙啓発事	· 1	1x	ha cir			
7	事業開始	洋度	平成	_	年度	1114	事業終了年		成 —	年度			
					事	務事業	の実施						
8	対象	市民等											
9	事業の 目的	公職選挙法弟0余に基づき選挙人に対し、選挙に関する召先寺を行う。 2 1 拡大する 2 見直しながら続ける 3 縮小する 4 廃止又は休止する 5 完了する											
	改善内	2 1 拡大する 2 見直しながら続ける 3 縮小する 4 廃止又は休止する 5 完了する											
10	容を踏まえた。今後の方向性	育委員 的に実 今後の	会、市立小中等施していきたい 展開として、	学校、橿原 1。 事業を通り	京市に所存 じて関係な	Eする県 ができた	会 会 会 で は で は で り で り で り で り で り り り り り り り	推進協議会や系 携して啓発活動 院の学生とのと 実施も推進して	が出前講座出前講座の協	等の事業を	積極		
11	事業の 内容 (手法)	か・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		連携して 頁啓発等 まち」のき スターへの そ物の配す	「未来の有 発行 の作品募負 布	有権者」 集	を対象にした	推進協議会」と 事業を展開する		発活動を行	<u></u> 一		
	指標の		力址(兴片)	`	29:	年度	30年度	31年度	32年度	Λ			
	推移		名称(単位))	(総計E	目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)				
12	成果指標	出前講	座の開催件数		3	3	3	3	3	 			
	1		スター応募件数	 汐		O O	80	80	80	\			
	活動指標 ②		いまち発行部数			000	52000	52000	52000	\			
	Ü		単位:千円)			予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	 \			
			<u> </u>)		93	307	310	305	⊢ \			
13		, u (E)	受益者負担額)	0	0	0				
13	歳入(b)	F	文面も見担的 国県補助金等そ)	0	0	0				
	(-)								_		\		
, ,			b) = 一般	知 源		93	307	310	305		\longrightarrow		
14	増額理由	ì	継続事業		بنبر	-	±v						
					備	3	考						

	事務事業の概要												
					事	務事業	の概要						
1	事務事	業名					投票区改編事	業					
2	担当部	侶	選挙管理委員会事	務局	担当課名	選	学 管理委員会事務	^{8局} 課長	名	岡本	好彦		
			目指す都で	市像	10	信頼さ	される行政を進	並めるまち					
3	総合計		施参		6	_							
	位置つ	ソフ	今後の取		1	_							
	₩ ₩		基本目標		'								
4	総合戦闘を			_									
			基本的方		0	/22+□ /	- 生中にトフィ	THUV ≥>>					
_	行革大	綱の	重点項目		2		集中による行	T 政 経 宮					
5	位置				1		業の見直し						
			改革名	3	17	投票事	3務の効率化						
6	予算事	業名					投票所改編事	· ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※					
7	事業開始	台年度	平成	30	年度		事業終了年	ま 平	成 30	年度			
					事	務事業	の実施						
8	対象	選挙人	.名簿登録者										
9	目的												
改善内 1 拡大する 2 見直しながら続ける 3 縮小する 4 廃止又は休止する 5 完了する													
10	容を踏 まえた 今後の 方向性	選挙執しに努		平性並と	がに確実性の	の確保に	2留意し、最小	限の経費で行え	えるよう、技	9開票	事務の見直		
11	事業の 内容 (手法)		・庁舎の開設に係 に伴う選挙人名										
		拡充 (予算打	3 0年度からの 記・変更内容 昔置を必要とする のに限る)		舎の開設に件 票区の改編を		第6投票区(内閣	善町すみれホール	レ)の投票所	移設と ⁻	それに伴		
	指標の		夕称 ()	_ 	29	年度	30年度	31年度	32年度	Λ			
	推移		名称(単位))	(総計日	目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)	$\neg \setminus$			
12	成果指標									\ \ \	\		
	(1)	異議由	し立て件数				0				\		
	活動指標 ——	有権者					100000						
			<u>数</u> 単位:千円)		()\(\frac{1}{2}\)]予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		\		
			₌ 接事業費)(a	.)		J J' JT /	1,500	(TUK)	(元四0)		\		
40							1,000				\		
13	歳入(b)		受益者負担額								\		
			国県補助金等で				. = -	_	_		\		
		<u> </u>		財源			1,500	0	0	\perp	\		
14	増額理由	¥	新規事業	(100%)	円以上增額	16/201	と理由をお選びく	(ださい)					
					備	į	考						

実施計画 投票区改編事業(選挙管理委員会事務局)

					1	事業の	具体的内	容の検討					
			番号	1	義務	法律等	(条例を	余く)で義	務付け	られた事	業		
			1			法令名	(公職選	学 法)
			'	2 -	任意	公共性	や収益性の	の観点から	市が関	与すべき	事業		
15	妥当性 の検討	なぜ市が 関与して いるのか	説明	法令で	定めら	れた事績	業であり、	市以外で泊	選挙を執	執行する?	ことはて	·*きない。	
16	緊急性 の検討	なぜ今な のか	説明					こついては! こもっとも!			要であり)、新分庁	舎の開設を
			2	-	1 高い	,)	2 †	かや高い	,	3 かか(i	乏い	4	低い
	有効性	期待され る効果・ メリット	説明	投票所	の利便	性の向_	とにより、	投票率の阿	句上がり	見込める。			
17	の 検討		4	-	1 高い	, \	2 †	かや高い	,	3 やや(i	乏い	4	低い
		上位施策 (総合計 画・基本 計画)献度	説明	独立し	た事業	で他のカ	施策への景	響は少ない	ν ι .				
			1		1	事業費も	人件費も低	減		2 人件費	は増加す	するが事業	費は低減
				3	事業費	は増加す	するが人件質	貴は低減		4	事業費も	人件費も増	·····································
			補助金領	等の有無	無	補助金額	名()
18	効率性 の 検討	コストの 検証(費 用対対証を 含む)	説明	投票所	の移設	と投票に	区の改編カ	「行われれ」	ば、人(牛費や投票	票所費用	引の削減が	見込める。

	事務事業の概要												
						事							
1	事務事	業名					衆	議院議員選挙	事業				
2	担当部	『名	選挙管	理委員会事	務局	担当課名	選	羊管理委員会事 務	編 課長	名	岡本	好彦	
			E	指す都で	市像	10	信頼さ	れる行政を進	 				
3	総合計				策	6	_						
	位置了	ンけ		<u>"。</u> 今後の取	•	1	_						
	/// \^ \\	m/7 🚓		基本目標		'							
4	総合戦 位置つ		-		_								
		717	3	基本的方		0	\22.±□ L	- 生土に トフケ					
	行革大	細の		重点項[2		集中による行	」以於呂				
5	位置つ					1		業の見直し					
				改革名	3	17		務の効率化					
6	予算事	業名					衆	議院議員選挙	事業				
7	事業開始	台年度		平成	_	年度		事業終了年	变 平	☑成 —	年度		
						事	務事業	の実施					
8	対象	選挙人	、名簿	登録者									
9	9 事業の 日的 公職選挙法等に基づき、選挙が適正かつ効率的に行われ、民主政治の健全な発展を目的とする。												
	改善内	牧善内 2 1 拡大する 2 見直しながら続ける 3 縮小する 4 廃止又は休止する 5 完了する											
10	容を踏 まえた 今 う向性	選挙執しに努			平性並び	がに確実性の	の確保に	「留意し、最小に	限の経費で行	えるよう、扮	3開票事	務の見直	
11	事業の 内容 (手法)	・選挙・期日	公営		票、選挙	類日にお!	ナる投開	票事務の管理	執行				
		拡充 (予算	で変すが	度からの 更内容 必要とする !る)									
	指標の		タチ	尓(単位	`	29	年度	30年度	31年度	32年度	\		
	推移		∸↑	小(半位)	(総計E	目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)	\neg \		
12	成果指標												
	1	異議申	出件製	数		_	_	0	_	_	 	\	
	活動指標 ②						_	100000	_	_		\	
Н	コストの			エロ)		(坐 対]予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		\	
] ,				.)							\		
	歳出(直接事業費)(a)						<u>) </u>	37,094	0	0		\	
13	歳入(b)			益者負担額			<u>)</u>	0	0	0		\	
				助金等る)	37,094	0	0		\	
	(a)		(b)	= 一般	財源	()	0	0	0			
14	増額理由	i	継続事	業									
						備	1	考					

	事務事業の概要												
1	事務事	業名			参	議院議員選挙	≦事業						
2	担当部	侶	選挙管理委員会事務局	担当課名	選	学管理委員会事務	%局 課長 ²	名	岡本 好彦				
	//\ ^ = I :	ΞŒ	目指す都市像	10	信頼さ	される行政を進	重めるまち						
3	総合計 位置つ		施策	6	-								
		717	今後の取組	1	-								
4	総合戦闘	 略の	基本目標										
4	位置了	がけ	基本的方向										
	/ - +- /-	W •	重点項目	2	選択と	集中による行	_丁 政経営						
5	行革大統 位置つ		項目	1	事務事	三業の見直し							
		,,,	改革名	17	投票事	事務の効率化							
6	予算事:	業名			参	議院議員選挙	≦事業						
7	事業開始	年度	平成 一	- 年度		事業終了年	度 平	成 一	年度				
				事	務事業	の実施							
8	対象	選挙人	名簿登録者										
9	事業の 目的	公職選挙法等に基づき、選挙が適正かつ効率的に行われ、民主政治の健全な発展を目的とする。 2 1 拡大する 2 見直しながら続ける 3 縮小する 4 廃止又は休止する 5 完了する											
	改善内	2	2 1 拡大する 2 見直しながら続ける 3 縮小する 4 廃止又は休止する 5 完了する										
容を踏 10 まえた 今後の 方向性 見直しに努める。													
11	事業の 内容 (手法)	・選挙 ・期日 	人名簿の調製 公営 前・不在者投票、選 30年度からの	選挙期日におり	ナる投影	見票事務の管理:	執行						
		拡充 (予算打	・変更内容 措置を必要とする のに限る)										
	指標の		名称(単位)	29	年度	30年度	31年度	32年度	_\				
	推移			(総計)	目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)	_ \				
12	成果指標								\				
	活動指標	異議申	出件数	_		_	0	_	\				
	2	有権者	数	-		_	100000		_ \				
Ι.	コストの	推移(単位:千円)	(当初]予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	_ \				
	歳	出(直	接事業費)(a)		O	0	37,782	0	\				
13	歳入(b)		受益者負担額		<u> </u>	0	0	0	\				
			国県補助金等その他		<u> </u>	0	37,782	0	\				
			b) = 一般財源	(<u> </u>	0	0	0					
14	増額理由	Í	継続事業										
	SSSSSS			備	Ā	考							

	一 一 一 												
					事	務事業	の概要						
1	事務事	業名				知事及	び県議会議員	選挙事業					
2	担当部	侶	選挙管理委員会事	務局	担当課名	選	学 管理委員会事務	8局 課長 ²	名	岡本	好彦		
			目指す都に	市像	10	信頼さ	れる行政を進	 並めるまち	•				
3	総合計		施		6	_							
	位置つ	フリブ	今後の取	' '	1	_							
	₩ ₩		基本目標		'								
4	総合戦闘 位置に			_									
			基本的方		0	755+□ L	- 生中にトフケ	─ ┰ ┢ ◊♡ ≿┷५					
_	行革大	綱の	重点項目		2		集中による行	丁以於呂					
5	位置了				1		業の見直し						
			改革	5	17		務の効率化						
6	予算事					知事及	び県議会議員						
7	事業開始	年度	平成	_	年度		事業終了年	度 平	成 一	年度			
					事	務事業	の実施						
8	対象	選挙人	.名簿登録者										
9	事業の目的 公職選挙法等に基づき、選挙が適正かつ効率的に行われ、民主政治の健全な発展を目的とする。 2 1 拡大する 2 見直しながら続ける 3 縮小する 4 廃止又は休止する 5 完了する												
改善内 2 1 拡大する 2 見直しながら続ける 3 縮小する 4 廃止又は休止する 5 完了する													
10	容を踏まえた。今後の方向性	選挙執しに努		平性並び	がに確実性の	の確保に	留意し、最小	限の経費で行え	さるよう、投	開票事	事務の見直		
11	事業の 内容 (手法)	・選挙		票、選挙	類日にお!	ナる投開	男票事務の管理:	執行					
		拡充 (予算指	3 O年度からの 表・変更内容 昔置を必要とする のに限る)										
	指標の		名称(単位)	29	年度	30年度	31年度	32年度	_/\			
	推移		□170 \半U 	<i></i>	(総計[目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)	_]\			
12	成果指標									\	\		
		異議申	出件数		_		0	0	_		\		
	活動指標 ——②	有権者	数		_		100000	100000	_				
	コストの		<u>**********************</u> 単位:千円)		(当初]予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		\		
	1			1)		0	18,597	23,350	0		\		
13		_	受益者負担			0	0	0	0		\		
10	歳入(b)	E	国県補助金等で			0	18,597	23,350	0		\		
	(a)					0	· ·		0		\		
, ,				別派		J	0	0					
14	増額理由	ì	継続事業		,44	+	=						
					備	B	考				0000000		

	一 一 一 												
					事	務事業の	の概要						
1	事務事	業名				市	議会議員選挙	学事業					
2	担当部	名	選挙管理委員会事	務局	担当課名	選	首里委員会事	務局 課長	名	岡本 好彦			
			目指す都で		10	信頼さ	れる行政を過	進めるまち	<u> </u>				
3	総合計		施	ŧ	6	_							
	位置つ	フリブ	今後の取		1	_							
	6/2/XIV		基本目標		<u>'</u>								
4	総合戦の位置で		基本的方	•									
		<i>-</i> 1,7				V22+□ L	・生中に トフィ	Th 4∇ ≧≒					
_	行革大	綱の	重点項目		2		集中による行	丁以栓名					
5	位置]	1		業の見直し						
			改革名	ś	17		務の効率化						
6	予算事					市	議会議員選挙						
7	事業開始	年度	平成	_	年度		事業終了年	度 平	成 一	年度			
					事	務事業の	の実施						
8	対象	選挙人	.名簿登録者										
9	事業の 目的	2 1 拡大する 2 見直しながら続ける 3 縮小する 4 廃止又は休止する 5 完了する											
	改善内	2	1 拡大する	3 2 見	直しながら	5続ける	3 縮小する	4 廃止又	は休止する	5 完了する			
10	容を踏まえた 今後の 方向性	選挙執しに努		7性並び	に確実性の	の確保に	留意し、最小	限の経費で行え	えるよう、投	段開票事務の見直			
11	事業の 内容 (手法)	・選挙・期日	前・不在者投票	票、選挙	期日におり	ナる投開	票事務の管理	執行					
		拡充 (予算指	3 O年度からの で・変更内容 昔置を必要とする のに限る)										
	指標の		名称(単位))	29	年度	30年度	31年度	32年度	_\			
	推移		口が (手位)	,	(総計	目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)				
12	成果指標												
		異議申	出件数		_		_	_	0	 \			
	活動指標 ——	有権者	数		_	_	_	_	100000	<u> </u>			
	コストの		<u> </u>		(当初]予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	– \			
			<u>+ [· · · ·] / </u> 接事業費)(a)))	0	0	68,364	<u> </u>			
13	-	, w \ C	受益者負担額))	0	0	00,004	\			
	歳入(b)	F	国県補助金等で))	0	0	0	\			
	(-)		b) = 一般))	0	0		<u> </u>			
, ,				(別)		J	U		68,364	<u> </u>			
14	増額理由	Í	継続事業		p+-	Ł	=						
					備	B .							

	平成3	〇年月	度 実施計画	j	(継続	事業)		(ソフト	、(義務)	事業)		
					事	務事業の	の概要						
1	事務事	業名					市長選挙事	業					
2	担当部	侶	選挙管理委員会事務	8局 打	旦当課名	選	羊管理委員会事	務局課長	名	岡本	好彦		
	/// A = 1 =		目指す都市	5像	10	信頼さ	れる行政を対	進めるまち	•				
3	総合計 位置つ		施第	AIF.	6	-							
	四世 _	717	今後の取	組	1	-							
	総合戦闘	略の	基本目標	五									
4	位置つ		基本的方	向									
	<i></i>	·= -	重点項E	3	2	選択と	集中による行	<u></u> 行政経営					
5	行革大 位置つ		項 E	3	1	事務事	業の見直し						
	<u>₩</u> ■ -	717	改革名	,	17	投票事	務の効率化						
6	予算事	業名				·	市長選挙事	· 業					
7	事業開始	年度	平成	— :	年度		事業終了年	度	成 一	年度			
					事	務事業(の実施						
8	対象	選挙人	.名簿登録者										
	事業の	= = =											
9	目的	公職選	学法等に基づき	5、選挙	が適正かる	D効率的	に行われ、民	主政治の健全な	、発展を目的	りとする	5.		
		2	1 拡大する	2 見	直しながら	続ける	3 縮小する	3 4 廃止又(は休止する	5 爿	記する		
	改善内 容を踏		320 (3				- 1135 3						
10	1 1.	强举 劫	,行における公¥	7小生 かんてドバ	こ確実性の	か確保に	· 図音」, 是小	限の終毒で行う	ラスよう 坎	四曲車	窓の目直		
	今後の	というと		-1 11111 010		グルドネに	-田心し、取り		1007	시커까크	がりた巨		
	方向性												
		/55 }}	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
			:人名簿の調製:公営										
	事業の		前・不在者投票	、 選挙期	朝日におけ	ける投開	票事務の管理	!執行					
11	内容 (毛法)												
	(手法)	亚成 :	30年度からの										
		拡充	で・変更内容										
			措置を必要とする のに限る)										
	 指標の				29:	年度	30年度	31年度	32年度	١			
	推移		名称(単位))		目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)	\dashv \			
12					C.50-0 7 C		5,—,,,	355-37	35,2377		、		
[· -		異議申	 出件数		_	_	_	0	_		\		
	活動指標 ②				_	_	_	100000			\		
			<u>数</u> 単位:千円)		(当知	予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		\		
			<u> </u>))	0	54,749	0		\		
13	<i>J</i> ŪX		受益者負担額)	0	0	0		\		
10	歳入(b)	E	国県補助金等そ)	0	0	0		\		
	(2)		b) = 一般)	0	54,749	0		\		
1./	増額理由		継続事業	ポリ // ホ		,	J	J+,145					
14	地识注田	1	でルデ木			i i							
					VΗ	1	5						

	事務事業の概要 (プクト (教物) 事業 (アクト (教物)) を持定 (アクト (教物)) を持定 (アクト (教物)) を持定 (アクト (アクト (教物)) を持定 (アクト (アクト (教物)) を持定 (アクト (アクト (教物)) を持定 (アクト (アクト (アクト (教物))) を持定 (
					事	務事業	の概要						
1	事務事	業名			大	和平野	土地改良区約	総代選挙事業					
2	担当部	名	選挙管理委員会事	務局	担当課名	選	首里委員会事	務局 課長	名	岡本	好彦		
			目指す都で	市像	10	信頼さ	れる行政を込	進めるまち					
3	総合計		施	ŧ	6	_							
	位置つ	ハフ	今後の取	※日	1	_							
	∞◆₩[収 の	基本目標		<u> </u>								
4	総合戦闘を		基本的方	•									
			重点項目		2	った は に に に に に に に に に に に に に に に に に に	 :集中による1	三					
5	行革大統	綱の			1]以社名					
5	位置つ	づけ]	•		業の見直し						
_	マケキ	** <i>/</i>	改革名	5 L	17		務の効率化	() () () () () ()					
6	予算事:					和平對	土地改良区約		-				
7	事業開始	详度	平成	_	年度		事業終了年		7成 —	年度			
						務事業	の実施						
8	対象	大和平	野土地改良区約	総代選挙	人名簿登録	禄者							
9	事業の 目的	的の農業の健全な発展と農政展開を目的とする。											
	改善内	2	1 拡大する	3 2 見	直しながら	ら続ける	3 縮小する	3 4 廃止又	は休止する	5 完	子する		
10	容を踏 まえた 今後の 方向性	選挙執しに努	行における公 ^ュ める。	7性並び	に確実性の	の確保に	留意し、最小	限の経費で行え	えるよう、技	设開票事	露務の見直		
11	事業の 内容 (手法)	・期日	平野土地改良[前・不在者投影	☑総代選 票、選挙	挙の立候补 期日におい	補受付 する投開	票事務の管理	執行					
		拡充 (予算指	3 0年度からの で・変更内容 昔置を必要とする のに限る)						_				
	指標の		名称(単位))	29	年度	30年度	31年度	32年度	\			
	推移		—————————————————————————————————————	<i></i>	(総計日	目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)] \			
12	成果指標									\	∖		
	1	異議申	出件数		_		_	0	_		\		
	活動指標 ②										\		
	コストの	推移 (<u></u> 単位:千円)		(当初]予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		\		
)		0	0	270	0		\		
13		_	受益者負担額			0	0	0	0		\		
	歳入(b)	E	文皿も気に 国県補助金等そ			0	0	270	0		\		
	(6)		□ □ <a< td=""><td></td><td></td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td>\</td></a<>			0	0	0	0		\		
				2 20 次		J	U						
14	増額理由	Ť	継続事業		p+-	±	= ¥						
					備	B	考						

	事務事業の概要													
1	事務事	業名			倉	橋溜池	土地改良区約	総代選挙事業	¥					
2	担当部	诏名	選挙管理委員会事務局	担	当課名	選	管理委員会事	務局 課:	長名	岡本	好彦			
	//\ ^ = I =	Ξø	目指す都市像	R	10	信頼さ	れる行政を込	進めるまち						
3	総合計で 位置で		施策		6	_								
	四世之	717	今後の取組		1	-								
	総合戦	路の	基本目標											
4	位置つ		基本的方向											
			重点項目		2	選択と	:集中による行	_{了政経営}						
5	行革大統 位置つ		項目		1	事務事	業の見直し							
		/1)	改革名		17	投票事	務の効率化							
6	予算事	業名			倉	橋溜池	土地改良区約	総代選挙事業	₹					
7	事業開始	年度	平成 ・	— 左	度		事業終了年	度	平成 一	年度	Ę			
					事	務事業	の実施							
8	対象	倉橋溜	池土地改良区総代	選挙人	、名簿登録	录者								
9	事業の 目的		地改良法及び土地改良法施行令並びに公職選挙法等に基づき、選挙が適正かつ効率的に行われ、地域農業の健全な発展と農政展開を目的とする。 2 1 拡大する 2 見直しながら続ける 3 縮小する 4 廃止又は休止する 5 完了する											
	改善内	2	1 拡大する	2 見直	直しながら	続ける	3 縮小する	4 廃止	又は休止する	5	完了する			
10	図書内 容を踏 10 まえた 今後の 方向性 関挙執行における公平性並びに確実性の確保に留意し、最小限の経費で行えるよう、投開票事務の見直 しに努める。													
11	事業の 内容 (手法)	・期日	溜池土地改良区総 前・不在者投票 、				票事務の管理	執行						
		拡充 (予算打	30年度からの 記・変更内容 昔置を必要とする のに限る)											
	指標の		名称(単位)		29:	年度	30年度	31年度	32年度	₹ \				
	推移		山か(手匹)		(総計E	目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み) \	\			
12	成果指標													
	活動指標	異議中	出件数		()	_	_						
	2										\			
	コストの	推移(単位:千円)		(当初	予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	\			
	歳	出(直	接事業費)(a)		7	O	0	0	0		\			
13	歳入(b)		受益者負担額)	0	0	0		\			
	IN / NO		国県補助金等その		7	O	0	0	0		\			
			b) = 一般財	源)	0	0	0					
14	増額理由	<u> </u>	継続事業											
					備	1	考							

	事務事業の概要 												
1	事務事	業名					監査	事務					
2	担当部	『名	監査委員事務	锔 担	当課名		監査	果	課長往	名	辰		豪
			目指す都は	5像	10	信頼さ	される行政	女を進め)るまち				
3	総合計画位置で		施第	策	6								
	<u> </u>		今後の取	.組									
4	総合戦闘		基本目標	票									
4	位置つ	ブけ 	基本的方	向									
	二十	ν <u>ω</u> Λ	重点項E	1									
5	行革大約 位置つ		項 E										
	— <u>——</u>		改革名	2									
6	予算事	業名				報酬	給与費、	監査事	務費				
7	事業開始	計年度	平成	ŕ	年度		事業終	了年度	平	成	年度	F	
					事犯	务事業	の実施						
8	対象	市の執	行機関										
9	事業の 目的	に対す イアン	Eで合理的かつ能率的な市の行政運営確保のため、違法若しくは不当な事務事業又は事務処理の誤謬対する指摘にとどまらず、事務事業の指導に重点を置いて監査することにより、市行財政のコンプラアンスの確立並びに経済性、効率性及び有効性の保障を期し、財政の健全化を図る。 2 1 拡大する 2 見直しながら続ける 3 縮小する 4 廃止又は休止する 5 完了する										
	改善内	2	1 拡大する	5 2 見	直しながら	5続ける	3 縮	小する	4 廃止又	は休止す	る 5	完了	'する
10	容を踏まえた。今後の方向性	済性、	公正で合理的た 効率性、有効性 香技術及び監査	生の保障を	を期する。	また、							
11		出納検 市の事 最大の	の年間計画に基 査)、審査(決 務事業が法令等 効果を挙げてい 地する。	央算審査、 等に基づき	健全化半 き適正に執	判断比率 執行され	∝等審査) こているか	を実施す	する。 合規性の観点	ねまと。	より、最	慢少の約	経費で
		拡充 (予算指	3 0年度からの で・変更内容 措置を必要とする のに限る)										
	指標の		名称(単位)	`	293	年度	30年	度	31年度	32年	度		
	推移		<u> </u>	, 	(総計目	3標値)	(見込み	ሃ)	(見込み)	(見込む	み)	\	
12	成果指標								_			\	
	活動指標								_			\	
	活動指標 ②	_							_			\	
	コストの	推移 (!	単位:千円)		(当初	予算)	(予算要	求)	(見込み)	(見込む	み)	,	\
	歳	出(直	接事業費)(a	.)	6,5	547	6,48	6	6,569	6,57	72		\
13	±-7 (b)		受益者負担額	 湏)	0		0	0			\
	歳入(b)	Ē	国県補助金等そ	:の他	C)	0		0	0			\
	(a)	- (b) = 一般	 財源	6,5	47	6,48	6	6,569	6,57	72		\
14	増額理由	Í	継続事業										
					備		考						

	事務事業の概要													
1	事務事	業名					議会運営支援事業							
2	担当部	侶	議会事務局		担当課名	当課名		議事課課課		課長名	長名		和政	
			目指	す都で	5像	10	信頼さ	頭される行政を進めるまち						
3	総合計		於	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ŧ	6	_							
	位置づけ			<u>-</u> 後の取	組									
	 総合戦略の			本目標										
4	位置つ			本的方	_									
					. –									
_	行革大統	綱の	重点項目 項 目											
5	位置つ		Į.	-										
	·	NI	改革名					-14 0 15	D.V	<u> </u>				
6	予算事								国営事務 費	_				
7	事業開始	年度		昭和	31	年度			終了年度		平	成	年度	
						事	務事業	の実施	i					
8	対象	議長、	委員長、	議員、	その他	也の職員。								
9	事業の 目的	適正か す。	つ円滑り	こ議会選	運営が行	うわれるよ <u>う</u>	うに支援	受すると	こともに、	当該環	環境を整	経備し開か	れた議会	会を目指
	改善内	1	1 ł	広大する	3 2	見直しながら	ら続ける	3	縮小する	4	廃止又に	は休止する	5 5	完了する
10	容を踏 まえた 今後の 方向性	二元代表制のもとで地方議会が住民代表として政策形成機能や監視機能を十分に発揮するために、今まで以上に議会活動を積極的に展開していけるよう、援助を行う。												
11	事業の 内容 (手法)	議議場議場務員	議の運営 常任委員会・特別委員会の運営 次第書の作成 議員への文書発送 証明書の発行 及び委員会の放送機器の点検整備 用品等消耗品の調達 研修等の会場借り上げ 器具の修繕											
	, 💆 , 💻 .	拡充 (予算指	8 0年度だ ・変更に 当置を必要 のに限る	内容 そとする										
	指標の		夕铄(畄宀)) — <u> </u>	29	年度	30	年度	315		32年	度	
	推移		名称(単位)		(総計E	目標値)	(見)	込み)	(見辺	(み)	(見込み	<u>+)</u>		
12	成果指標												`	\
	<u> </u>													\
	活動指標 —— ②													\
	コストの推移 (単位: 千円)					(当初	予算)	(予算	(要求)	(見辺	(み)	(見込み	})	\
[歳出(直接事業費)(a)						'33	4.9	941	4,9		4,96		\
13	,,,,	\ <u>\</u>	受益者負担額 国県補助金等その他			1,1		1,0		1,0	.0	1,00		\
	歳入(b)	F												\
-	(a)					17	33	<i>A</i> C	941	4,9	45	4,96	9	/
1/	増額理由		と 継続事業		/L/// L//.	<u> </u>	55	7,0	/T1	- ,,,	FO	- ,50	<u> </u>	
14	坦识吐田	jl.	也心。于未					考						
						1/1		5						

事務事業の概要													
1 事務事業名 議会広報活動事業							<u>-</u> -						
2	担当部	诏名	宮 議会事務局 担業			当課名 議事課 課長名 寺田 君							
			目指す都	市像	10	信頼さ	される行	政を進	めるまち				
3	総合計			策	6	_							
	位置了	ンけ	今後の取										
	//\ \^ \\\	m. 7	基本目										
4	総合戦位置に												
	<u> </u>	717		基本的方向									
	行革大	綱の	重点項目										
5	位置		項										
			改革	2									
6	予算事	業名					議会運	営事務	費				
7	事業開始	台年度	昭和	42	年度		事業絲	冬了年度	₹ Ψ	成	成年度		
					事	務事業	の実施						
8	対象	市民											
9	事業の 目的												
	改善内	2	1 拡大す	る 2 .	見直しながら	う続ける	3 紹	耐かする	4 廃止又	は休止する	5	完了する	
10	容を踏 まえた 今後の 方向性		もらえる、読 の活動状況を				かりやす。	く親しみ	みやすい議会だ	ごより・HP	にする	ること。	
11	事業の 内容 (手法)	市ホー 定例会	だよりを作成 ムページ上に と委員会を傍 ーネットによ	議会情報 聴する際	を掲載する、希望者は	る。 こは議案	₹を貸出						
		拡充 (予算指	3 0年度からの で・変更内容 間で必要とする のに限る)										
	指標の		夕称 (出片	_ 	29	年度	305	丰度	31年度	32年度	$\overline{}$		
	推移		名称(単位	.)	(総計E	目標値)	(見込	<u>ふ</u> み)	(見込み)	(見込み)	$\exists \setminus$		
12	成果指標	傍聴者	 数	数			35	50	350	350	┨ `	\	
	(1)		よりの総発行	部数		50 '600	2076		207600	259500		\	
	活動指標 ②		ネット議会中継(フ		000	650		65000	65000	_	\		
	コストの]予算)	(予算		(見込み)	(見込み)		\				
			48	4,5		4,587	5,317		\				
40			接事業費)(名		ا , ا	40	4,0	40	4,001	0,017		\	
13	歳入(b)	歳入 (b)		受益者負担額								\	
			国県補助金等その他			40	4 =	10	4.505	50:		\	
L			$b) = -\theta$	受財源 T	5,1	48	4,5	43	4,587	5,317			
14	増額理由	扩	継続事業										
					備	į	考						

事務事業の概要											
1	事務事	業名		Ž	会議録作成・検索システム事業						
2	担当部	侶	議会事務局	担当課名		議事課	課長	名	寺田	和政	
	⇜ᄼ≕ℷ	雨の	目指す都市像	10	信頼る	される行政を進	並めるまち				
3	総合計画の 位置づけ		施策	6	_						
			今後の取組								
4	総合戦		基本目標								
Ľ.	位置づけ		基本的方向								
	行革大綱の 位置づけ		重点項目								
5			項目								
			改革名								
6	予算事					議会運営事務					
7	事業開始	台年度	昭和 31	年度		事業終了年	度 平	⁷ 成 年度			
		I		事	務事業	の実施					
8	対象	市民、	議員、職員。								
9	事業の 目的										
	改善内	2	1 拡大する 2	見直しながら	ら続ける	3 縮小する	3 4 廃止又	は休止する	5	完了する	
10	容を踏 まえた 今後の 方向性		議議録の紙ベースを電磁記録(PDF)で作成し、冊子とCDとの選択性を導入している。 議議録・会議録検索データの校正作業を効率よく行い、市民等に早く会議内容の情報提供をする。								
11	事業の 内容 (手法)		の紙ベースから電磁! 等の校正作業のスピ				知等をはかる。				
		拡充 (予算指	8 O年度からの E・変更内容 措置を必要とする のに限る)								
	指標の		名称(単位)		年度	30年度	31年度	32年度	__		
	推移		石州(早世)		目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)	_ \		
12	成果指標		録頁数(50部)	18	800	1800	1800	1800	· ·	\	
	活動指標	会議録	検索件数(HP)	45	000	4500	4500	4500		\	
	2	会議録	検索件数(LAN)	40	000	4000	4000	4000		\	
1 .	コストの推移 (単位: 千円)				予算) 749	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		\	
	歳	歳出(直接事業費)(a)				4,376	4,419	4,459		\	
13	歳入(b)		受益者負担額							\	
			国県補助金等その他				=	= :		\	
			b) = 一般財源	3,7	' 49	4,376	4,419	4,459			
14	増額理由	¥ i	継続事業		-	-t-					
	備 考										

	T 194 C	0 45	文 大心可巴			尹未/		(130167	# . WILDER	·未 /		
事務事業の概要 												
1	1 事務事業名 調査研究及び支援事業											
2	担当部	侶	議会事務局	j	担当課名		議事課	課長	名 寺	田 和政		
			目指す都市像		10	信頼さ	される行政を決	進めるまち	•			
3	総合計			Alf	6	_						
	位置つ	לול	今後の取組									
	松全 器	収の	基本目標	-								
4	総合戦略の 位置づけ		基本的方									
			重点項目									
5	行革大	綱の	項 目									
J	位置了	づけ										
_	マ質古	₩ 欠	以甲石	ם			送今宝兴市区	夕 書				
6	予算事		077.40	04	左曲		議会運営事務	•		- -		
7	事業開始	许医	昭和	31	年度	24	事業終了年		成 年	度		
	J 1 6	I	T-11-C	1		勞事業	の実施					
8	対象	議員、	職員、他市町村	すの議員	など。							
9	事業の 目的											
	改善内	2	1 拡大する	3 2	見直しながら	ら続ける	3 縮小する	る 4 廃止又	は休止する	5 完了する		
10	容を踏まえた。今後の方向性	るので 活動費	各議員個人に交付されている政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に資することを目的としているので、無駄のないよう低コストで最大の効果があがるよう慎重に支出すべきである。しかし一方政務活動費は支出を抑制すればよいというものではなく、年間交付金額内で有効に活用され、所期目的が十分に果たされるよう政務活動費の執行率をあげるように働きかけていく。									
11	事業の 内容 (手法)	政務活動費の交付(一人あたり年額500,000円) 全国市議会議長会、近畿市議会議長会、奈良県市議会議長会への負担金支出 市議会議員共済会との連絡調整事務 各種団体が主催する研修会等の参加・議員研修会の開催 新聞・雑誌等の情報を収集保管 国内外の姉妹都市や友好都市との交流 本市訪問の視察議員接待 庁用車運転・管理事務										
		拡充 (予算指	8 O年度からの E・変更内容 措置を必要とする のに限る)									
	指標の		夕称 (凶法)	\	29:	年度	30年度	31年度	32年度	$\sqrt{}$		
	推移	名称(単位 		,	(総計目	目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)] \		
12	成果指標									1 \		
	1	政務活	動費の執行率(%)	4	·O	40	40	40	1 \		
	活動指標 ②		察受入自治体数			150)	20(150)	20(150)	20(150)	1 \		
	コストの推移 (単位: 千円)					予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	1 \		
		+ :::: · · · · · · · 接事業費)(a)		,333	291,074	291,110	291,969	\			
13		_	受益者負担額		200	,555	201,017	201,110	201,000	\		
	歳入(b)								┤			
	(2)		- (b) = 一般財源			,333	291,074	291,110	291,969	· \		
11	増額理由	_		.术1 //示	290	,000	201,014	201,110	201,303	\\		
14	坦识廷田	Ti	也似乎未			ŧ .						
					VE	1	5					